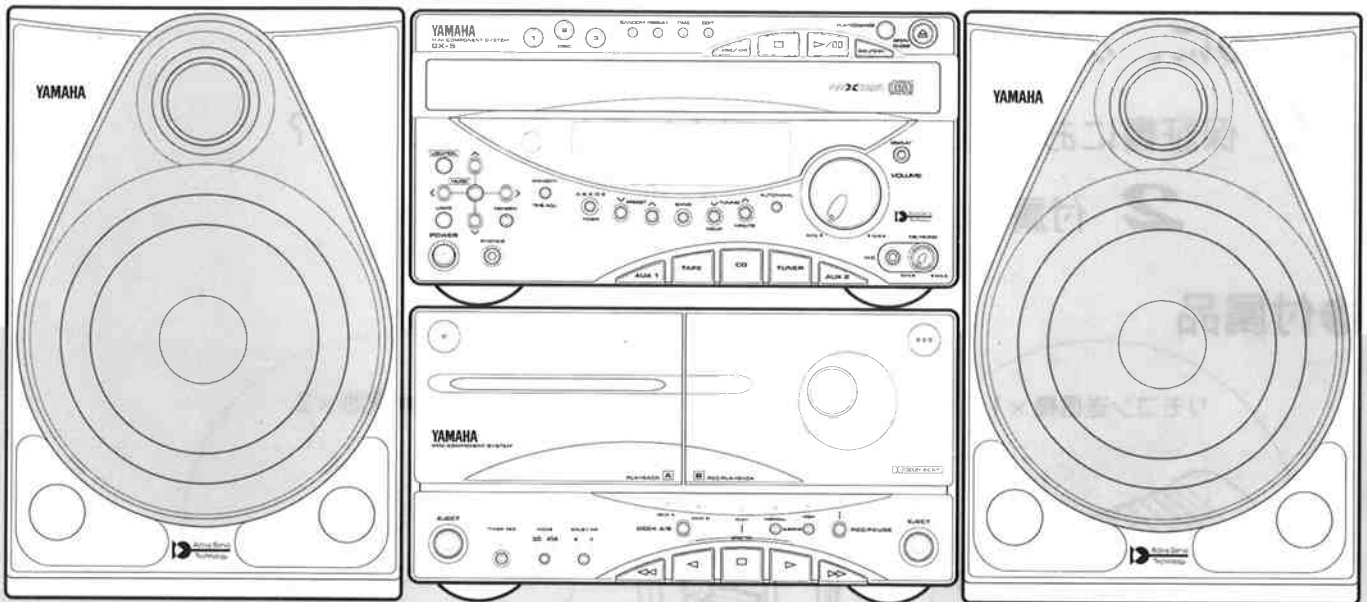


YAMAHA

ミニコンポーネントシステム

GX-5

取扱説明書



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

 Active Servo
Technology

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、YAMAHAミニコンポーネントシステムGX-5をお買い求め
いただきまして、誠にありがとうございます。

GX-5の優れた性能を充分に発揮させると共に、永年支障なくお使い
いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

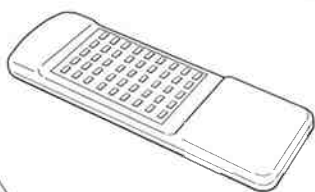
はじめに、次のことをお確かめください。

1 保証書にお買い上げ店名を記入してもらいましたか？

2 付属品はきちんとそろっていますか？

●付属品

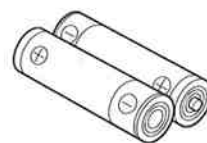
リモコン送信機 × 1



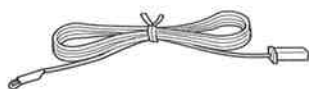
AM用
ループアンテナ × 1



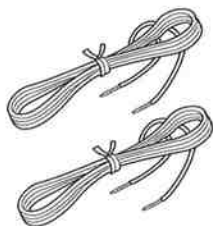
単3 乾電池 × 2



FM用アンテナ × 1



スピーカーコード × 2




その他

取扱説明書 × 1 保証書 × 1

ちょっと お知らせ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権
法上、権利者に無断で使用できません。

 DOLBY B・C NR

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレ
ーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY
及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンス
コーポレーションの登録商標です。

おもな特長

- ◆ ライフスタイルに合わせて、レイアウトが楽しめる本体2ピースのニューデザインコンポ
- ◆ 小型スピーカーでも、豊かな重低音を再生するヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジー搭載
- ◆ 45キー多機能ワイヤレスリモコン
- ◆ 実用最大出力50W+50Wで迫力ある音が楽しめます
- ◆ CD3枚連続演奏が楽しめます
- ◆ CDからの編集が簡単にできる多機能・高音質CDプレーヤー
- ◆ フェザータッチ方式採用のWリバーズメカニズム
- ◆ FM/AM合計40局ランダムプリセット付シンセサイザーチューナー
- ◆ AMステレオ対応
- ◆ 7素子電子グラフィックイコライザーとスペクトラムアナライザー
- ◆ ミュージックとロケーションコントロールが楽しめます
- ◆ マイクミキシングでカラオケが楽しめます(デジタルエコー付き)

もくじ

ページ

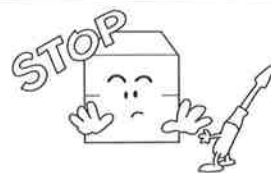
おもな特長..... 1 正しくお使いいただくために 2~3 お使いになる前の準備(設置と接続) ... 4~8 リモコンの準備..... 9 各部のなまえ 10~15 時刻の合わせかた 16 音量調節について 17	はじめに
CDを聞くには 18~25 テープを聞くには 26~29 ラジオ放送を聞くには 30~32 好みの音質/音場で聞くには, ... 33~37	
CDを録音するには 38~43 テープダビングするには 44~45 ラジオ放送を録音するには 46~47	録音
タイマーを使うには..... 48~51 マイクを使うには 52 他の機器を楽しむには 53	その他
CDやテープについて 54 お手入れするには 55 故障かな?と思ったら 56~57 仕様について..... 58 参考資料 59 ヤマハホットラインサービスネットワーク.... 60	ご参考

正しくお使いいただくために

お守りください

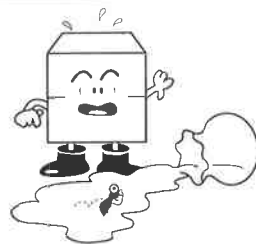
分解や改造は絶対にしないでください。

内部にさわると感電や故障の原因になります。
内部点検、調整は販売店におまかせください。



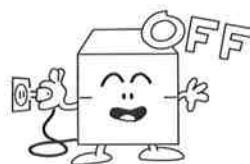
内部に異物を入れないでください。

- 内部に液体をこぼしたり、金属類や燃えやすい物を落とさないでください。
異物が入ったまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
- 特にお子さまのいるご家庭では注意してください。



長時間ご使用にならないときは

- ふだんご使用にならないときは、電源を切ってください。
- 旅行など長時間お留守にされる場合は、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

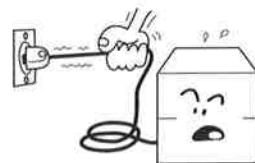


電源コードの取り扱いについて

コードの芯線が露出していたり、傷ついているコードを使用しないでください。
火災や感電の原因になります。

危険防止のため、次の項目に注意してください。

- 本機や家具、置物、敷物などの重い物をのせないで！
- 熱器具に近づけたり触れさせたりしないで！
- 無理に曲げたり、ねじったり、結んだりしないで！
- コードを抜くときは、プラグを持って！
- めれた手で、プラグにさわらないで！



万一、コードがいたんだら、販売店に交換をご依頼ください。(有料)

ご注意

雷が近づいてきたら、電源コードをコンセントから抜いてください。



異常が起きたら

万一異常な音、におい、煙が出たときや異物が中に入ったときは、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、販売店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点に連絡してください。

また、本システムは、CD/チューナー部、デッキ/アンプ部の単体動作しませんので、CD/チューナー部+デッキ/アンプ部の組み合わせで修理をご依頼ください。

海外では使用できません。

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

<This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.>

置き場所は

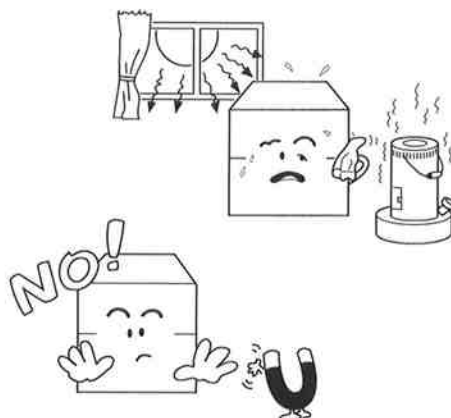


直射日光の当たらない、風通しの良い、安定した場所を選んでください。



次のような場所には置かないでください。
故障や事故の原因になります。

- 直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く。
- ほこりや湿気の多い所。
- 水分のかかる所。
- 極端に寒い所。
- 振動の多い所。
- 熱器具や調理台のそばなど直接煙があたる所。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な所。
- 磁気や電気雑音を発生しやすいものから近い所。
- 風通しが悪く狭い所。



— “つゆつき”現象について —

つぎのような場合には、内部のレンズやCDに露(水滴)がつくことがあります。

- ◆ ストープをつけた直後。
- ◆ 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- ◆ 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

露がついてしまうと

CDの信号が読み取れず、本機が正常な動作をしないことがあります。

露を取るには

CDを取り出して電源を入れておけば、約1時間位で露が取り除かれ、正常な動作をするようになります。

“デモ表示”について

本機は、電源コードをコンセントに接続してPOWER OFFのまましばらくすると、店頭でのデモンストレーション用の表示(デモ表示)機能が自動的にスタートします。

POWER ONするとデモ表示は、中止できませんが、再びPOWER OFF状態が続くとデモ表示を繰り返します。

デモ表示を解除するには、時刻合わせ(16ページ参照)を行い、時計機能を動作させてください。

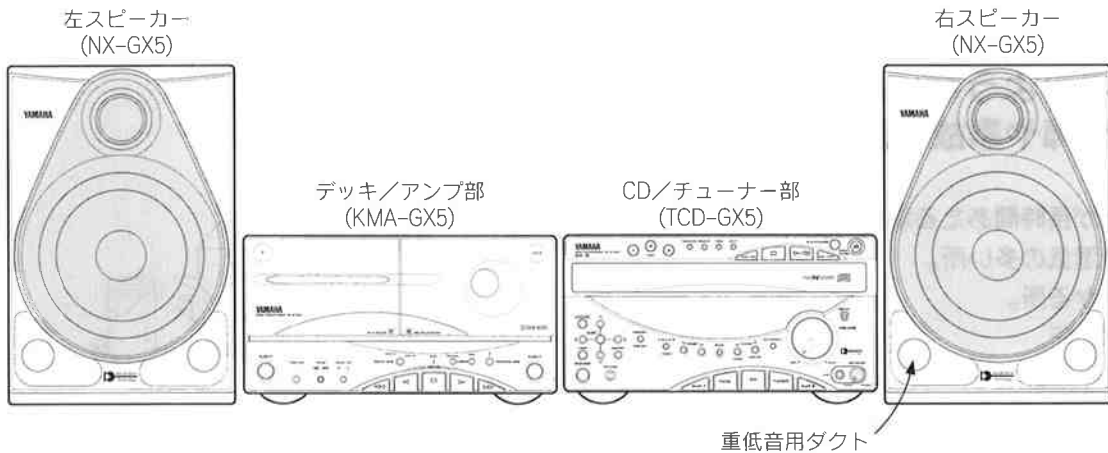
— 発熱について —

本機は、リモコンやタイマー機能を働かせるために、電源を切っても(Power OFF状態)表示窓の時計表示やマイコンのメモリー用に電気を消費しています。そのため、若干発熱しますが異常ではありません。

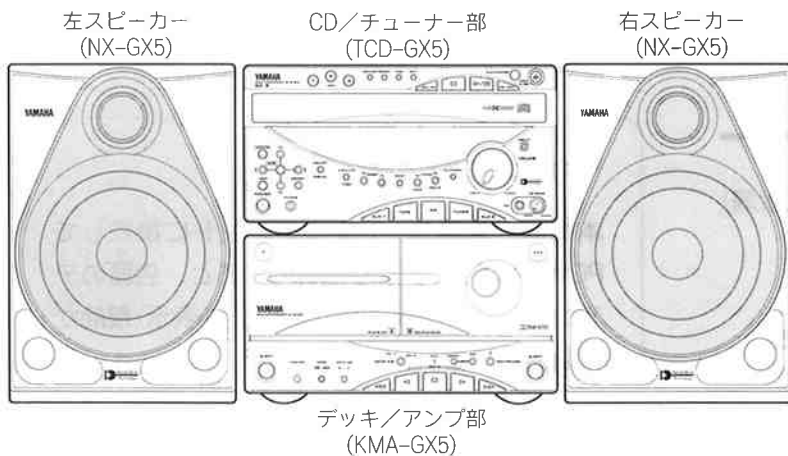
お使いになる前の準備

置きかた

横に並べる場合



縦に積み重ねる場合



設置上のご注意

ラックなどに入れるときは、放熱を良くするため本機の天面5cm、背面10cm以上のすきまをあけてください。

お願い

本機のスピーカーは防磁タイプではありませんので、テレビにあまり近づけないでください。

テレビの画面が色ズレなどを起こすことがあります。

また、スピーカーの重低音用ダクトのなかに異物を入れたり、細長い棒を差し込んだりしないでください。

万一、異物が入ったときは、スピーカーコードを抜いて販売店に連絡してください。

サラネット

●スピーカーのサラネットは、はめ込み式で取り付けられています。サラネットを上下に持って手前に引くと取りはずすことができます。

取り付けは、サラネット裏側に付いているストライク(プラスチックの突起)と本体側キャッチャー(ストライク受け部)を合わせて軽く押し込んでください。

(サラネットの布部分は押さえないでください。)



サラネット

接続上のご注意

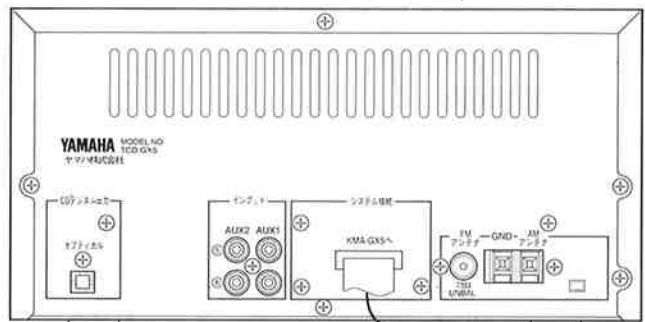


- コードは本書の説明どおりに接続してください。
- 各接続コードやプラグは最後までしっかりと差し込んでください。
しっかり差し込まれていないと、雑音がでたり、スピーカーをいためる原因になります。
- スピーカーコードのプラス \oplus 、マイナス \ominus をまちがえないように接続してください。

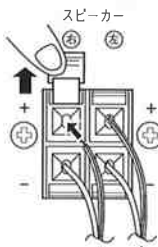
- この製品はアクティブ・サーボ・テクノロジーシステムを搭載していますので付属のスピーカー(NX-GX5)以外は使用しないでください。
(他のスピーカーを使用した場合、故障の原因となります)
- 接続がすべて終わったあと、電源コードをコンセントに差し込んでください。

システムの接続とスピーカーの接続

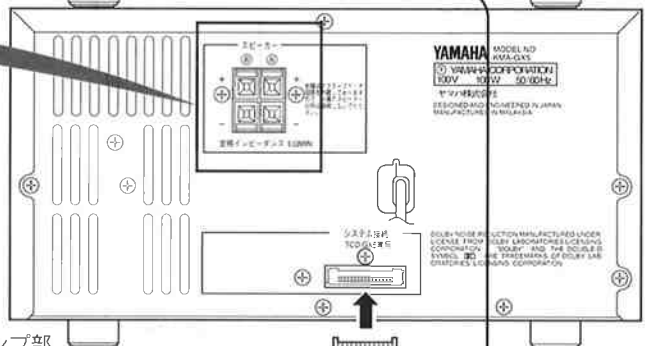
CD/チューナー部 (TCD-GX5)



- レバーを開いたあと、コードを奥まで差し込みます。
差し込んだあとは、レバーをもとにもどします。
- ライン入りのコードがプラス \oplus です。



デッキ/アンプ部 (KMA-GX5)



システムケーブル

スピーカーコード

差し込むには

- 中央を押して差し込んでください。



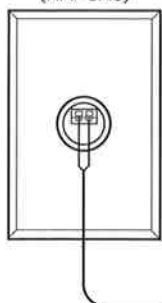
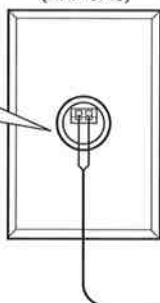
抜くには



- ライン入りのコードがプラス \oplus です。

右スピーカー (NX-GX5)

左スピーカー (NX-GX5)

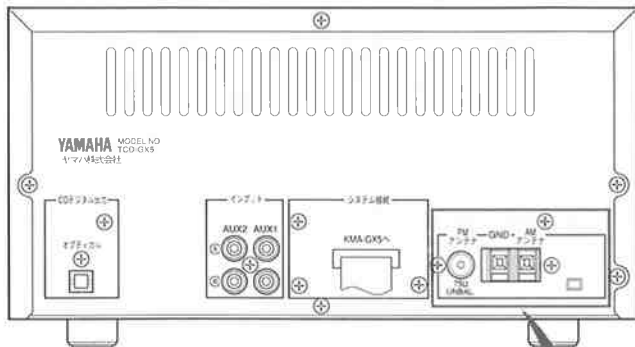


注) システムのスピーカー(NX-GX5)以外は接続しないでください。

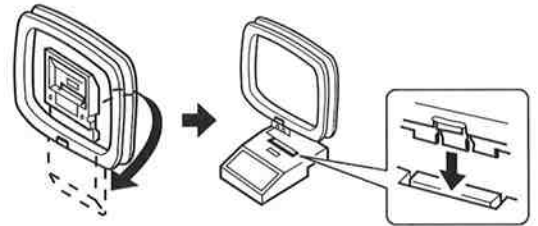
お使いになる前の準備

付属アンテナの接続

CD/チューナー部 (TCD-GX5)

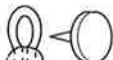


AM用ループアンテナの組み立て



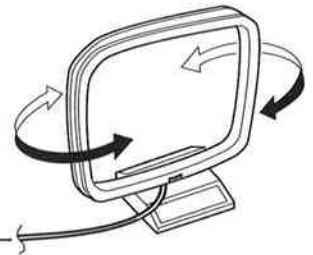
FM用アンテナ

放送を聞きながら歪や雑音の最も少ない位置に、押しピンなどで固定します。



AM用ループアンテナ

放送が最もきれいに聞こえる方向にします。
アンテナは本体から離してください。本体や接続コードなどに近づけると雑音が入ることがあります。

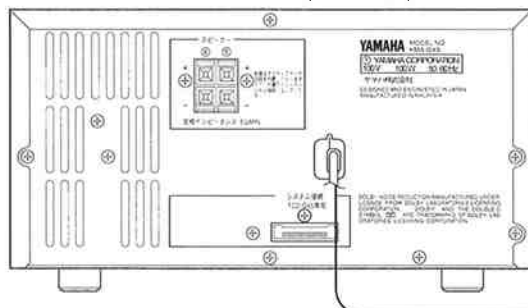


電源コードの接続

各接続が終わったあと、電源コードを接続します。

- 電源コードを接続すると、CD/チューナー部のディスプレイ(表示)が点滅します。まず最初に時刻合わせ(16ページ)を行ってください。

デッキ/アンプ部 (KMA-GX5)

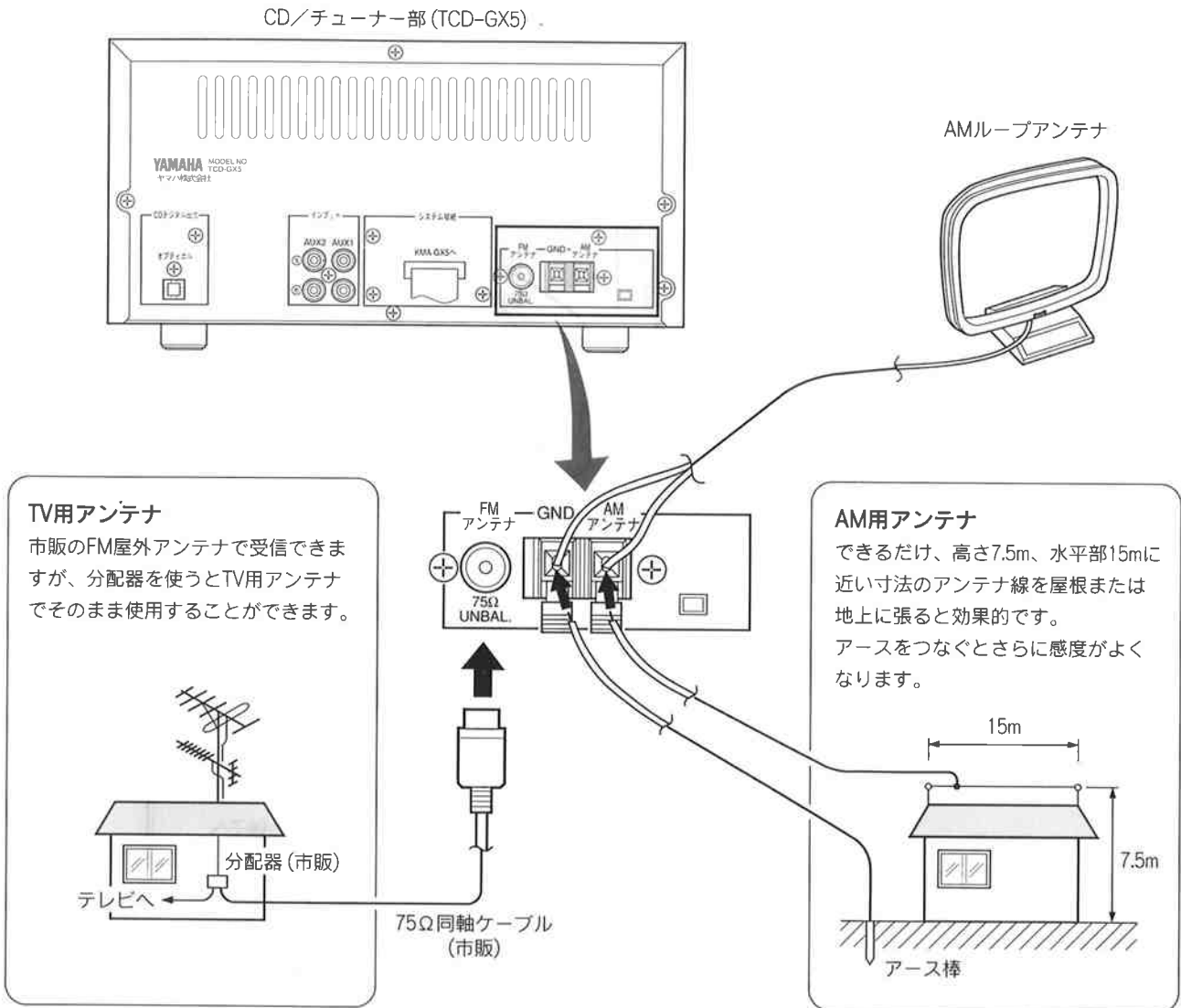


ACコンセント
100V(50/60Hz)



屋外アンテナの接続

付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを使います。
(屋外アンテナのつなぎかたなど、くわしくは販売店におたずねください。)



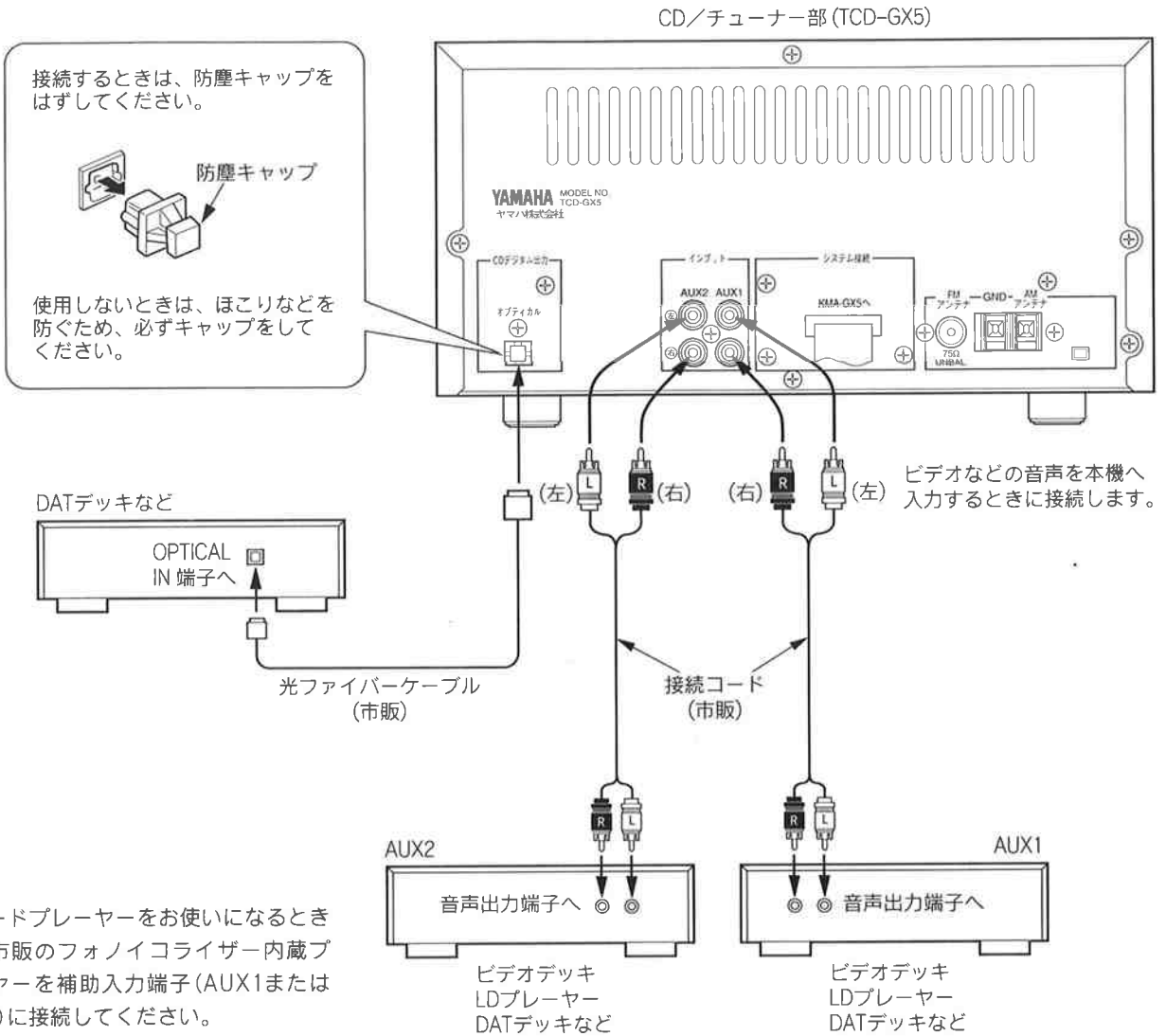
お使いになる前の準備

— 屋外アンテナを立てる場所について —

- 放送局の送信アンテナがある方向に立てます。
ビルや山のかけなど、障害物がある所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
- 送電線の下には立てないでください。
送電線にアンテナが触れると大変危険です。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れた所、またはそれが見えない所に立てるようにしてください。
- 落雷のおそれがありますのであまり高い所には立てないでください。

他の機器との接続

お使いになる前の準備



レコードプレーヤーをお使いになるときは、市販のフォノイコライザー内蔵プレーヤーを補助入力端子(AUX1またはAUX2)に接続してください。

— CDデジタル出力端子について —

この端子は、本機CDのデジタル信号(光)を出力します。OPTICAL INPUT端子を持つ他の機器(DAT, MD, DCCなど)と接続してください。使用例としては、他の機器で本機CDを録音したいときに使います。

注) CDデジタル出力端子は、他のファンクション(TAPE, TUNER, AUX1, AUX2)の信号を出力しません。また、マイクや音質/音場効果のデジタル信号は出力しません。

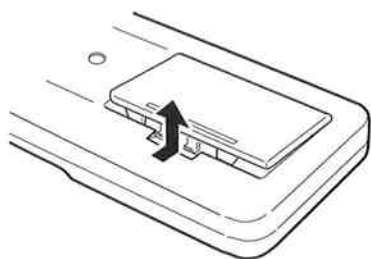
接続上のご注意

- コードは本書の説明どおりに接続してください。
- 接続コードは付属していませんので、お買い上げの販売店で求めください。
- 各接続コードは最後までしっかりと差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、雑音が出る原因になります。

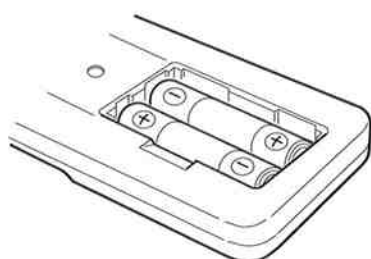
リモコンの準備

乾電池の入れかた

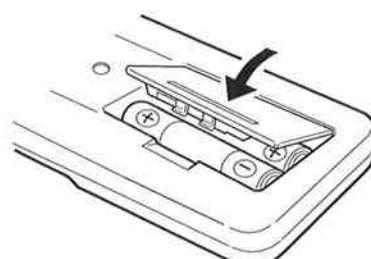
1 裏ぶたをはずす



2 単3乾電池(2個)を入れる

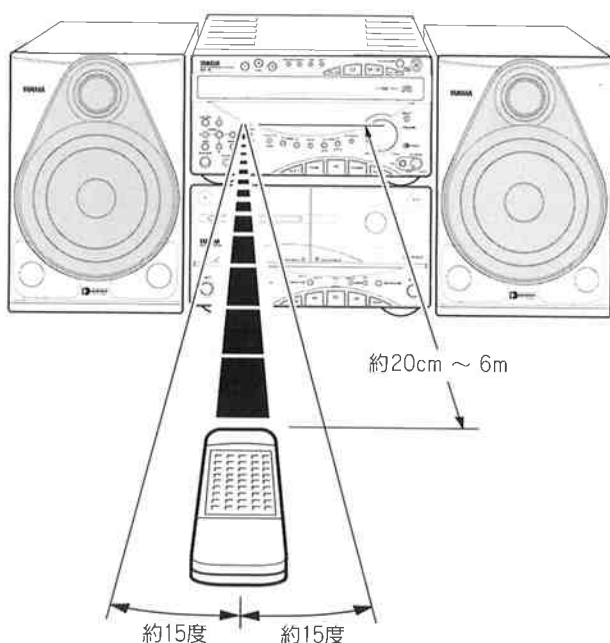


3 裏ぶたを戻す



リモコンの準備

リモコンの使用範囲



リモコン取扱上のご注意

- 受信部とリモコンの間に障害物があると操作できないことがあります。
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり、温度の高い所には置かないでください。
- 受信部に直射日光や強い照明(インバーター蛍光灯など)が当たっているとリモコンが働きにくくなります。照明または製品本体の向きを変えてください。
- 他の機器のリモコンを同時に操作すると、動作をしないことがあります。

リモコン用乾電池の交換時期

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約1年間です。リモコン受信部に近寄らないと動作をしない場合は、乾電池を交換してください。

乾電池のご注意

乾電池は誤った使い方をすると、液もれや破れつすることがありますので、次の点に特に注意してください。

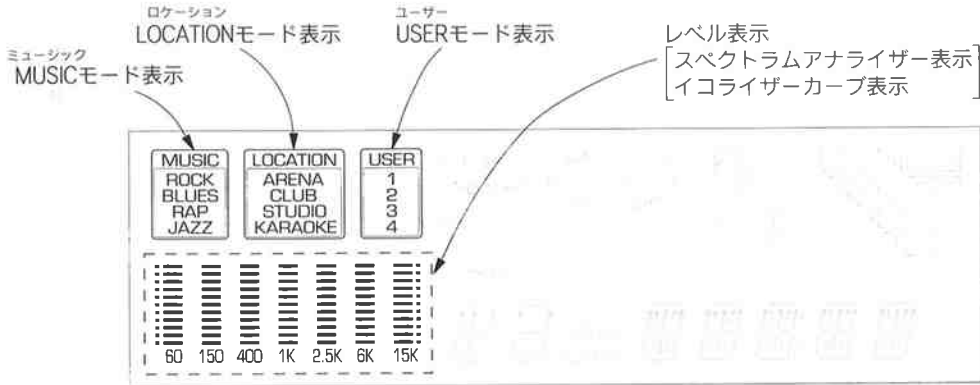
1. 乾電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを表示どおり正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 種類のちがう乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも電圧の異なるものがあります。
4. 乾電池が使えなくなったり、本機を長い間使わないときは、乾電池を全部取り出してください。
5. 乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。
6. 液もれが起こったときは、ケースの中についた液をよくふき取ってください。

各部のなまえ

▶ 内の番号は、本文で説明しているおもなページです。

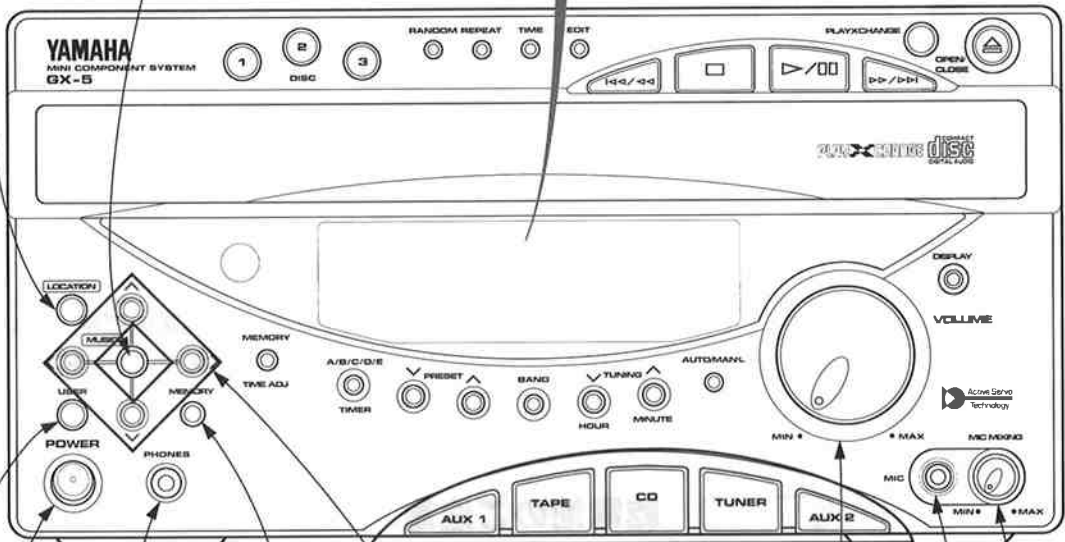
CD/チューナー部(TCD-GX5)

グライコ/アンプ操作部



ロケーション LOCATIONボタン 35

ミュージック MUSICボタン 34



パワー POWERボタン (電源)

メモリー MEMORYボタン (グライコ記憶) 37

ダイレクトファンクション ボタン (入力切換)

マイク MIC端子 52

ユーザー USERボタン 35

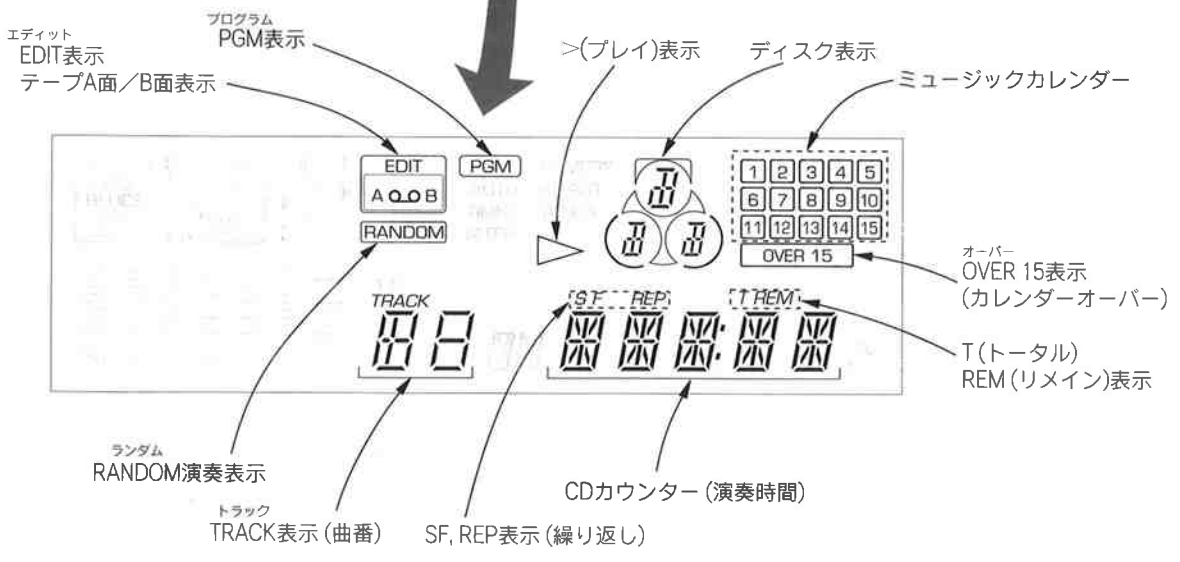
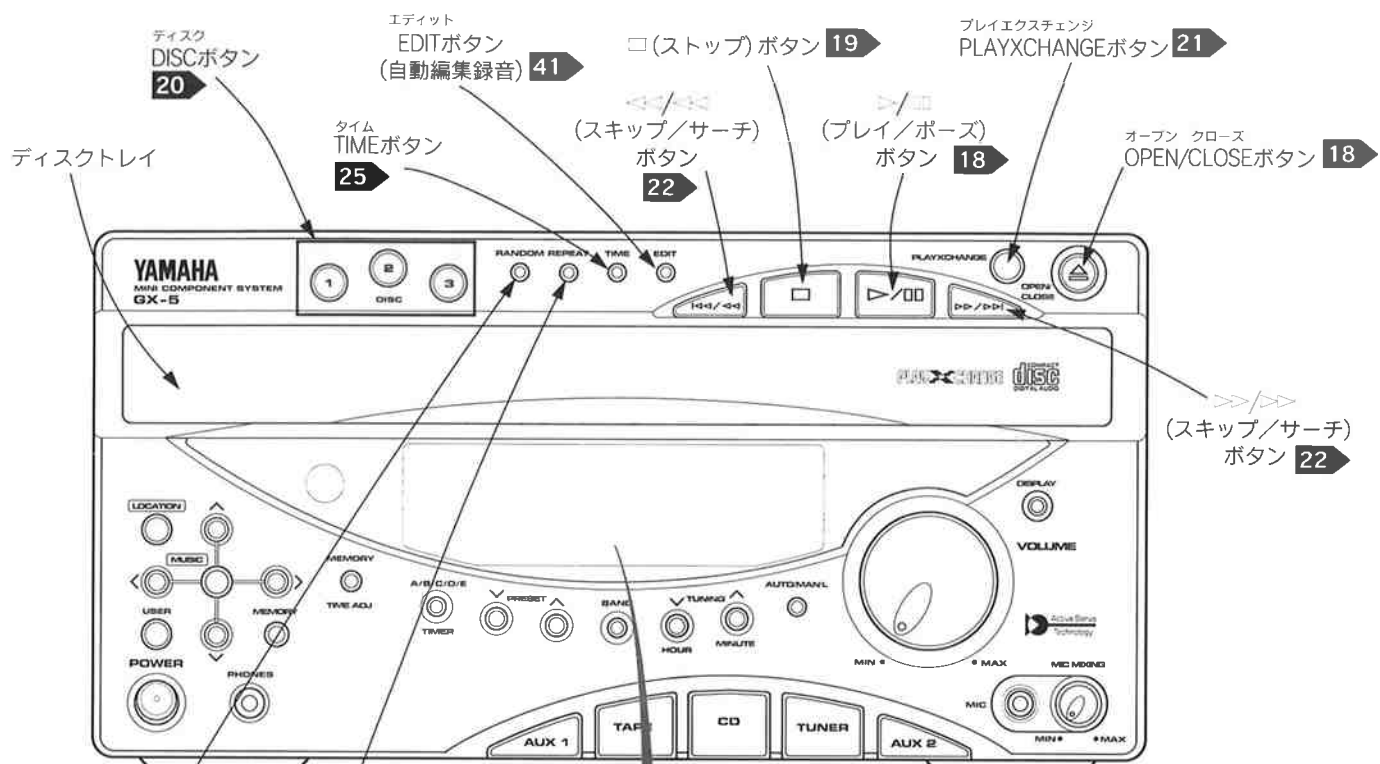
ホーンズ PHONES端子 (ヘッドホン) 17

カーソルボタン 36

ボリューム VOLUMEつまみ (音量) 17

マイクミキシング MIC MIXINGつまみ 52

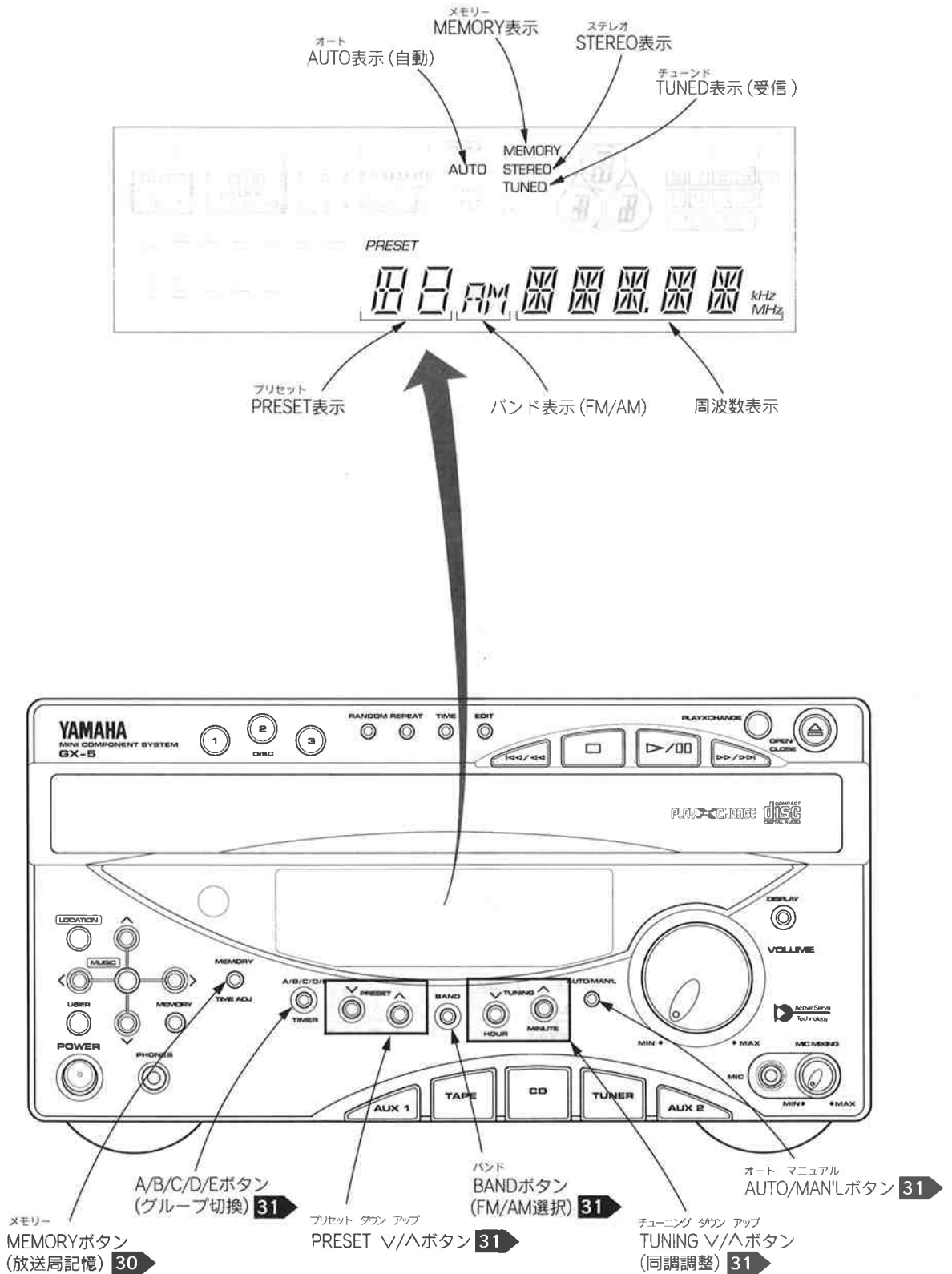
CD操作部



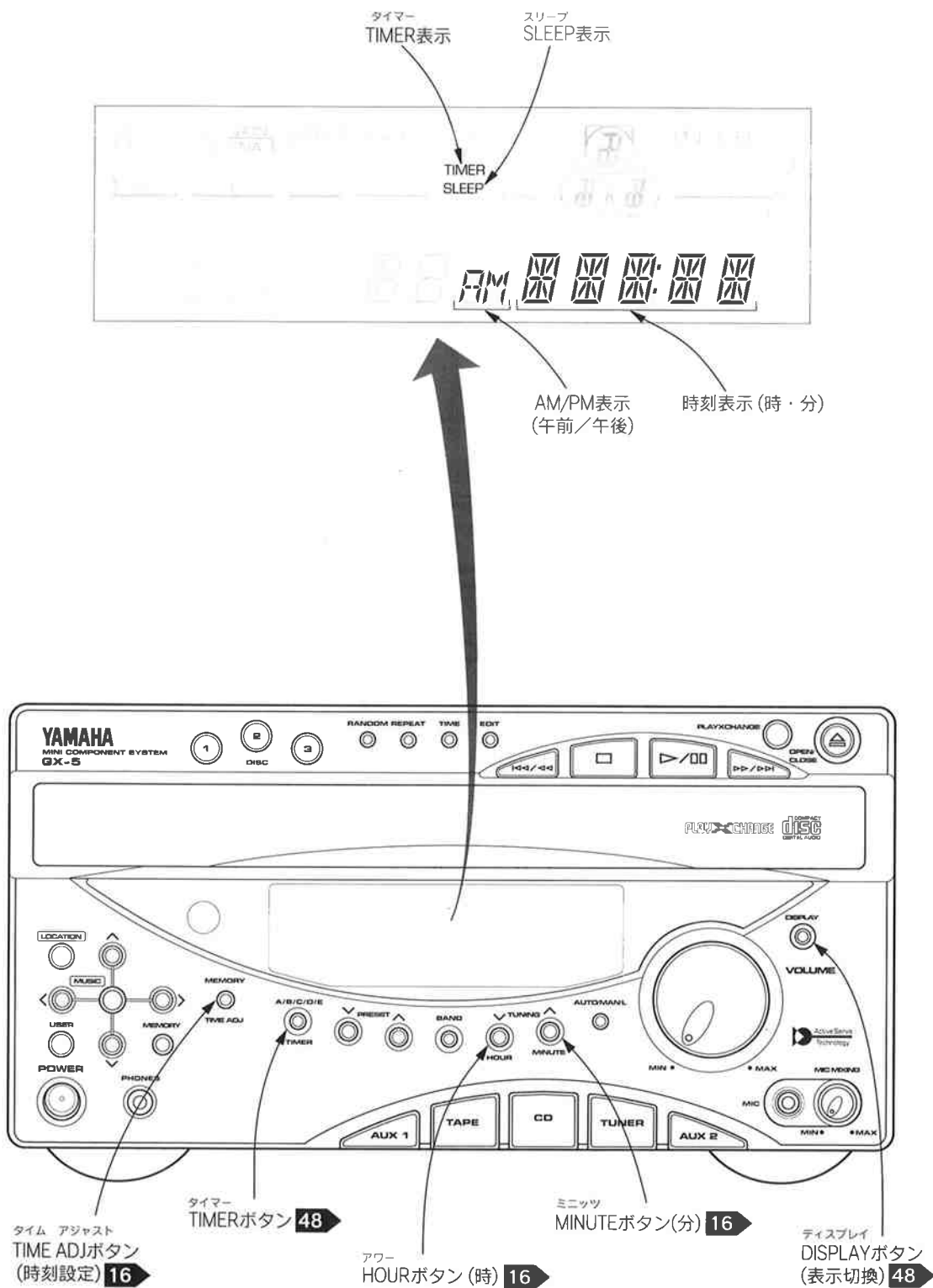
内の番号は、本文で説明しているおもなページです。

チューナー操作部

各部のなまえ



タイマー操作部

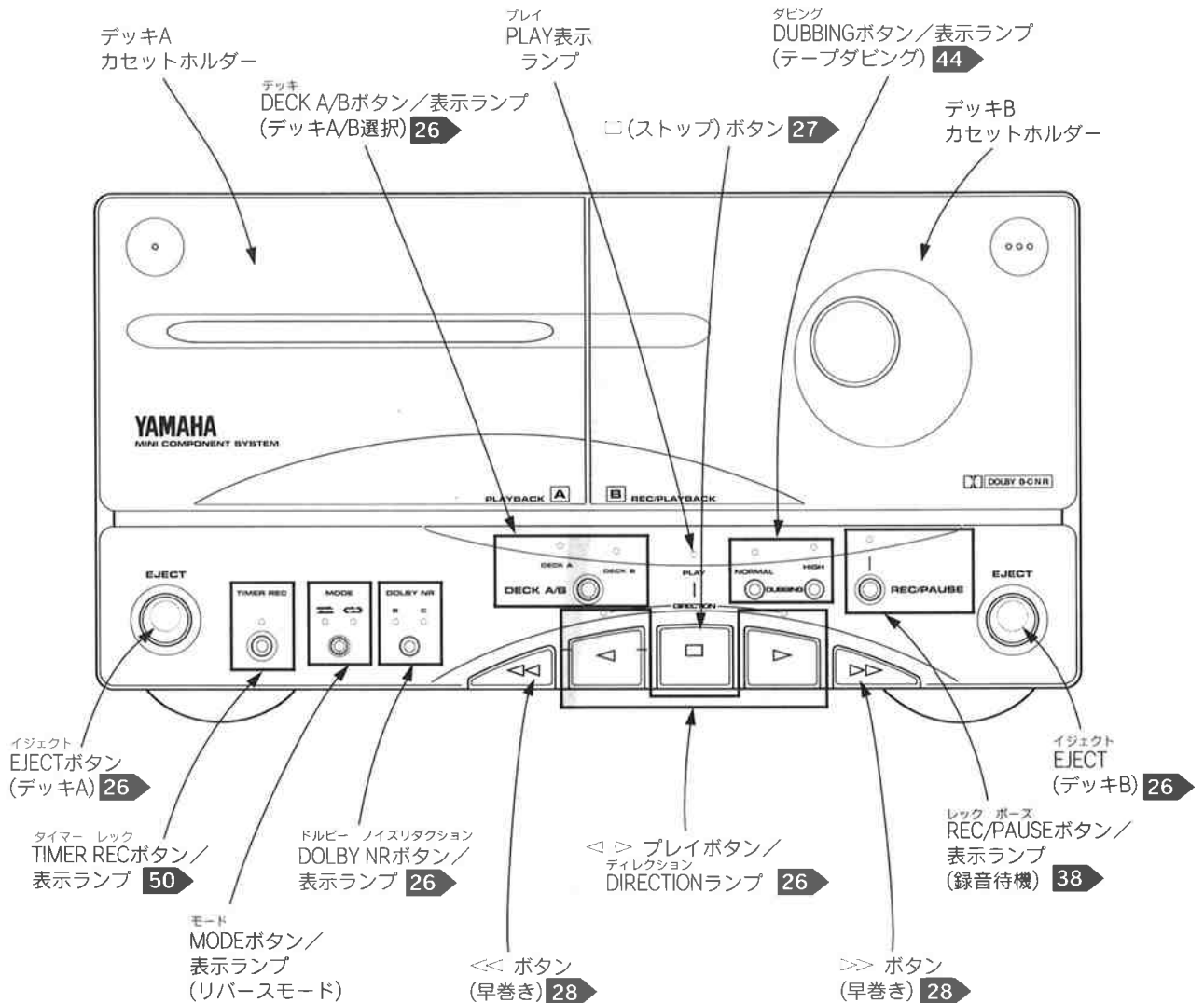


▶ 内の番号は、本文で説明しているおもなページです。

デッキ/アンプ部(KMA-GX5)

各部のなまえ

デッキ操作部



リモコン

CD操作部

CDダイレクト10-KEYボタン (1~0、+10) **21**

タイム
TIMEボタン

プログラム
PROGボタン **23**

テープ
TAPEボタン **42**

エディット
EDITボタン

チューナーダイレクト操作部

チューナー
TUNERダイレクトボタン(1~8、A~E) **32**

ディスクスキップ
DISC SKIPボタン

◀▶ サーチボタン/
◀▶ スキップボタン

ストップ
□ STOPボタン

プレイ ポーズ
▶ ◻▶ PLAY/PAUSEボタン

モード
MODEボタン **20**

リピート
REPEATボタン

ランダム
RANDOMボタン

オープン クローズ
OPEN/CLOSEボタン

グライコ操作部

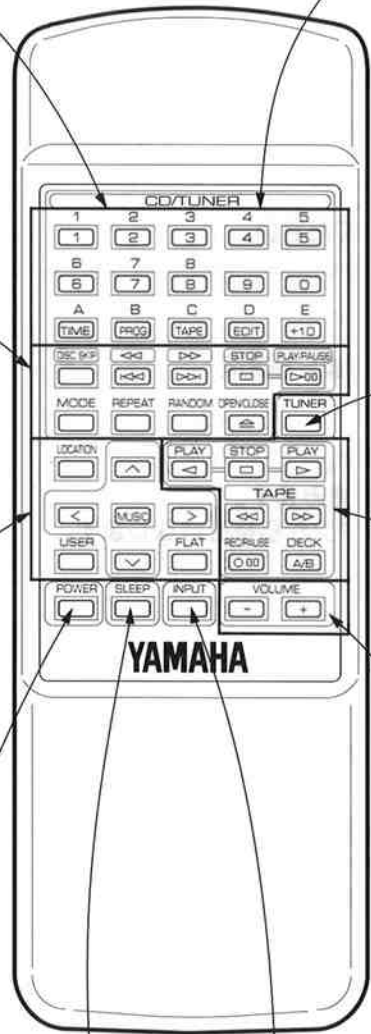
ロケーション
LOCATIONボタン

ミュージック
MUSICボタン

ユーザー
USERボタン

フラット
FLATボタン **35**

◀、▶、↖、↘ (カーソル) ボタン



チューナー
TUNERボタン

デッキ操作部

プレイ
◀▶ PLAYボタン

ストップ
□ STOPボタン

◀▶ ボタン (早巻き)

レック ポーズ
○ ◻▶ REC/PAUSEボタン

デッキ
DECK A/Bボタン
(デッキA/B選択)

ボリューム
VOLUMEボタン (音量調整)

パワー
POWERボタン (電源)

インプット
INPUTボタン (入力切換)

スリープ
SLEEPボタン **51**

◻ のボタンは、リモコンのみ操作できます。

時刻の合わせかた

●電源コードをつなぐとディスプレイ部が、点滅します。下記の方法で時刻を合わせてください。

(例)午前10時30分に合わせるとき

1

電源を入れる (POWER ON)

POWERボタンを押す



●電源OFFの状態でも、時刻合わせができます。その場合は、③～④の操作をしてください。

2

時計表示にする

ディスプレイ
DISPLAYボタンを一度押す



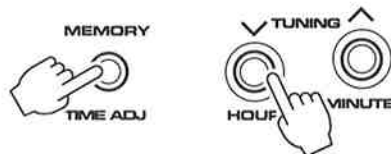
●約8秒間何も操作しないと、自動的に元の表示(ファンクション表示)に戻ります。そのときは、もう一度DISPLAYボタンを押してください。



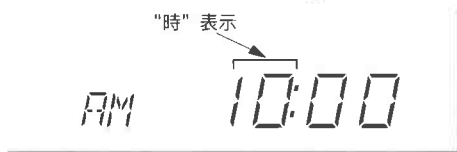
3

“時”合わせ

タイムアジャスト
TIME ADJボタンを押したまま、アワー
HOURボタンを押す



●1回押すと1時間進みます。
●押し続けると、連続して進みます。
希望の時刻で、HOURボタンから指をはなします。



AM12:00は、午前0時を、PM12:00は、正午を表わします。

4

“分”合わせ

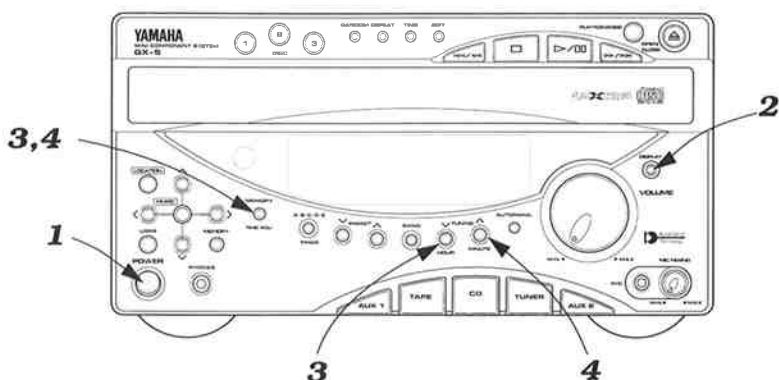
タイムアジャスト
TIME ADJボタンを押したまま、ミニッツ
MINUTEボタンを押す

●1回押すと1分進みます。
●押し続けると、連続して進みます。
希望の時刻でMINUTEボタンから指をはなします。
●“分”設定中は、“59”から“00”になっても時間は変わりません。



タイムアジャスト
TIME ADJボタンから指をはなす

●時計がスタート(“0”秒から)します。
●POWER ONの場合、時計表示はしばらくすると消えて、元の表示(ファンクション表示)に戻ります。
●秒まで正しく合わせるときは電話の時報サービス(117番)をご利用になると便利です。(有料)



●5分以上電源コードが抜けたり、停電になると、時計は停止します。
再び、通電すると時計表示は点滅しますので、もう一度時刻を合わせ直してください。
●時計表示が点滅の場合、タイマー再生・タイマー録音はできません。

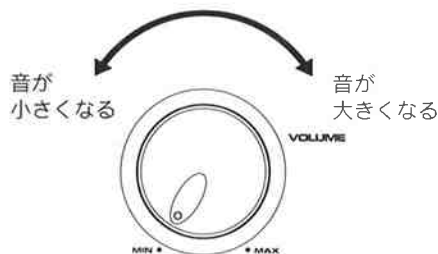
音量調節について

音量を変えるには

- デジタル録音されているCDは、音の強さの変化範囲が広がっています。小さい音から大きい音に急激に変化する音楽などを大きな音量（最大付近）で長時間聞くと、スピーカーを破損する恐れがありますので、音量設定に注意してご使用ください。

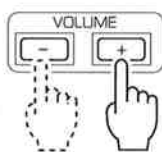
本体

ボリューム
VOLUMEつまみを回す

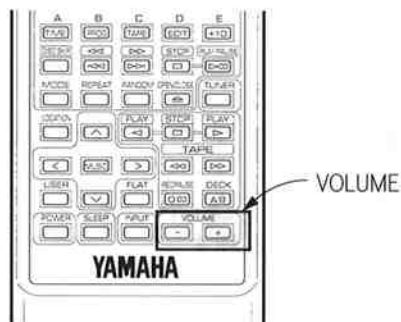
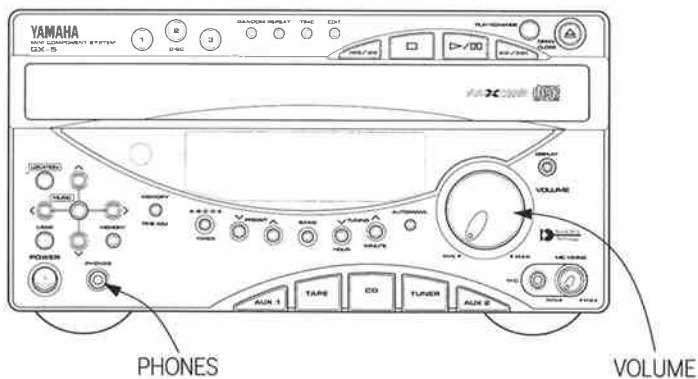


リモコン

ボリューム
VOLUMEボタンの“+”または“-”を押す

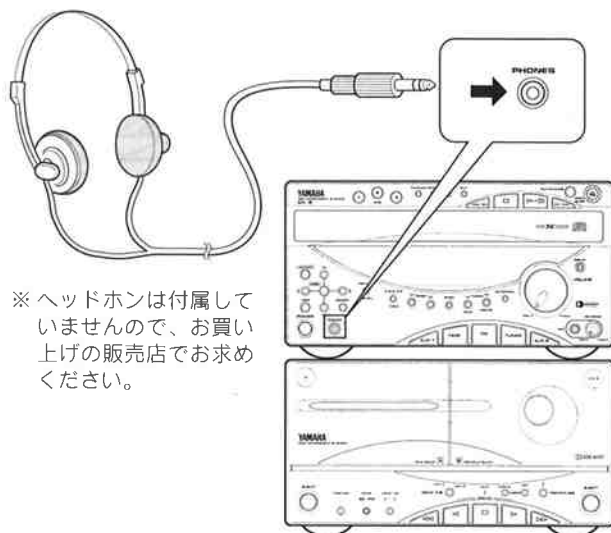


音が小さくなる 音が大きくなる



ヘッドホンで聞くには

- 接続するときは音量を下げてください。
- ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからは音は聞こえなくなります。
- インピーダンス16Ω~50Ω(推奨32Ω)で、直径3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。



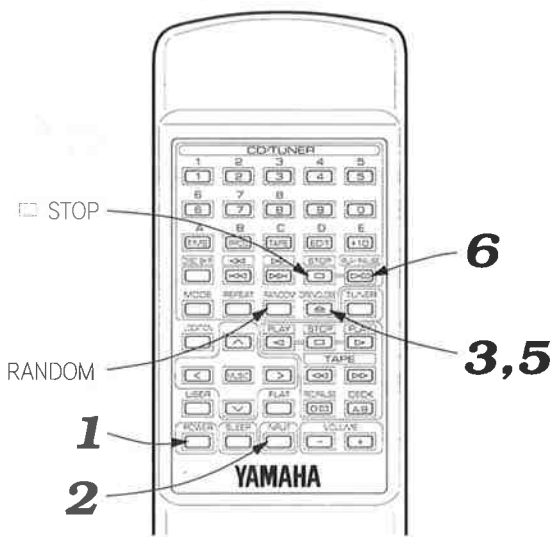
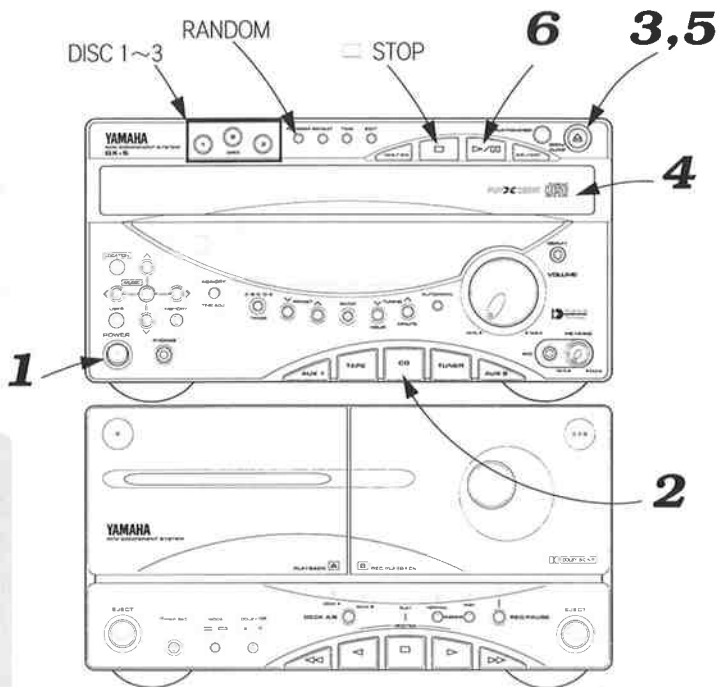
音楽のエチケット

- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気を付けましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう、音量を小さくしてお楽しみください。



CDを聞くには

ふつうに聞くには



●音量は17ページをごらんの上調整してください。

ご 注 意

CDをディスクトレイに入れたままの状態、本機を移動したり傾けたりしないでください。

1 電源を入れる

[POWER] ボタンを押す

POWER



2 ファンクションをCDにする

リモコン

本体



リモコンは数回押して、CDにする

3 ディスクトレイを開ける

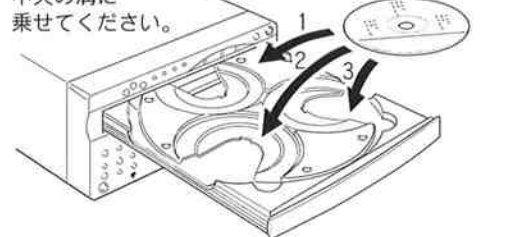
オープン/クローズ [OPEN/CLOSE] ボタンを押す

"OPEN"表示をします。



4 CDを入れる

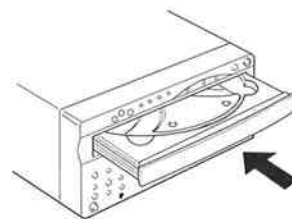
8cmCDを聞くときは、中央の溝に



●ディスク番号1からCDをセットします。1枚ずつ、最大3枚までセットできます。

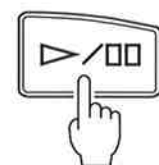
5 ディスクトレイを閉める

オープン/クローズ [OPEN/CLOSE] ボタンを押す

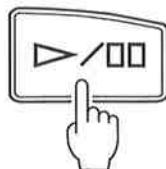



6 CDをスタートさせる


プレイ/ポーズ [PLAY/PAUSE] ボタンを押す



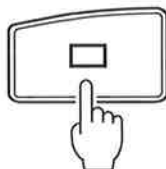
演奏を一時的に止めるには



 ^{プレイポーズ}PLAY/PAUSEボタンを押す
 (“>”表示が点滅)

再び演奏を始めるときは、
 ^{プレイポーズ}PLAY/PAUSEボタンを押す

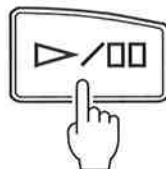
演奏を止めるには



 ^{ストップ}STOPボタンを押す
 (“>”表示が消える)

ワンタッチ演奏

CDがディスクトレイに入っていれば、他のファンクションを再生中でも、ワンタッチでCDの演奏を始めることができます。




 ^{プレイポーズ}PLAY/PAUSEボタンを押す

または^{ランダム}RANDOMボタン、^{ディスク}DISC1~3のいずれかを押してもワンタッチ演奏ができます。

このとき、テープ演奏中の場合はテープストップします。

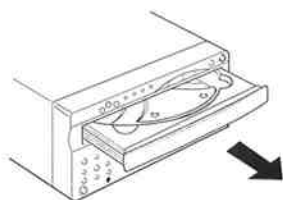
参考

CDを入れたあと、直接  PLAY/PAUSEボタンまたはディスクトレイを軽く押すと、自動的にディスクトレイが閉まり演奏を始めます。そのとき総曲数・総演奏時間は表示しません。

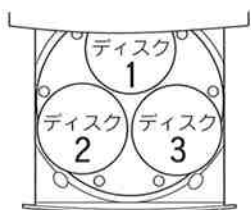
ディスクトレイにCDが有るか検索します。



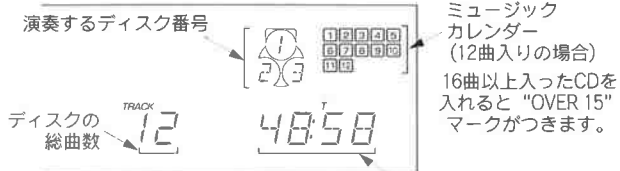
CDが入っていないことを表わします。



- ディスクトレイを開けると、下図の状態になります。



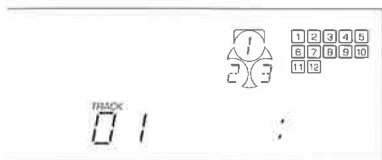
ディスクトレイにはそれぞれ番号がついています。その番号がセットしたディスクの番号になります。



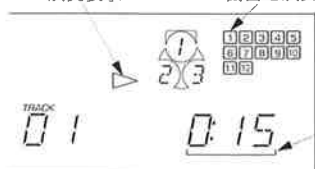
ミュージック
 カレンダー
 (12曲入りの場合)
 16曲以上入ったCDを
 入れると“OVER 15”
 マークがつきます。

ディスクの
 総演奏時間

(数秒後に)



演奏表示 1曲目を演奏中



ミュージックカレンダーは、
 演奏の終わった曲から
 消えて行きます。

曲ごとの経過時間

CDを聞くには

CDを3枚続けて演奏するには

モード
MODEボタンで“オールディスク
モード”を設定する



ディスク1 → ディスク2 → ディ
スク3 の順で連続演奏します。

- リモコンのMODEボタンを押すごとに、シングルデ
ィスク/オールディスクとモードが切り換わります。

シングルディスクモード

CD1枚だけ聞くととき

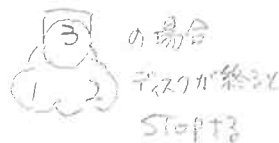


オールディスクモード

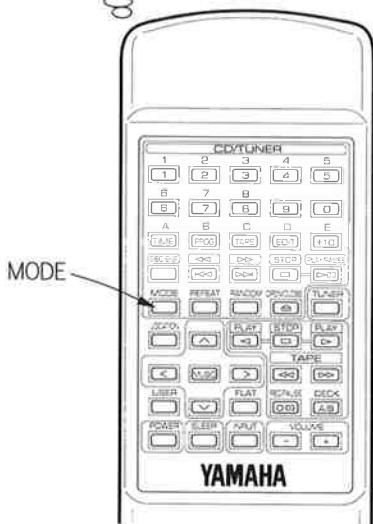
複数のCDを連続して聞くととき



外枠が点灯



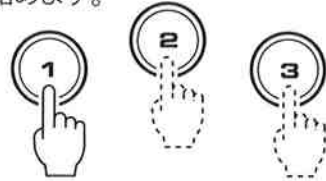
リモコンのみ
操作できます



好きなCDから演奏するには

本体で操作するには

演奏したいディスク番号のDISC1~3ボタンを選んで押
します。選んだディスク番号にディスクが有ると、自動
的に演奏を始めます。



選んだディスク番号にディスクが無い場合は、選ぶ前の
ディスク番号に戻り、無いディスク番号表示は消えます。

リモコンで操作するには

ディスクスキップ
DISC SKIPボタンを押すごとに、ディスク番号が変わり
ます。選択後、▶/⏸ PLAY/PAUSEボタンを押しま
す。

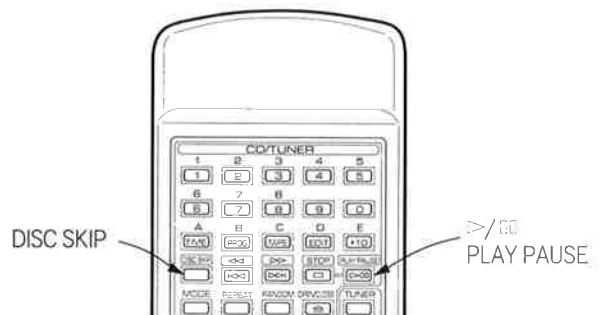
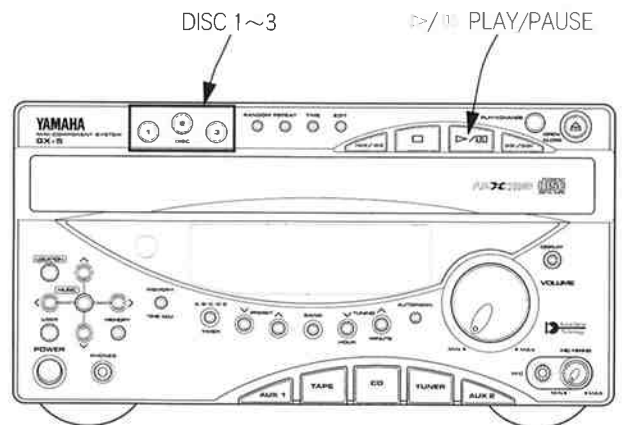


ディスク番号は

「1 → 2 → 3」

の順で変わります。

無いディスク番号は、飛ばします。



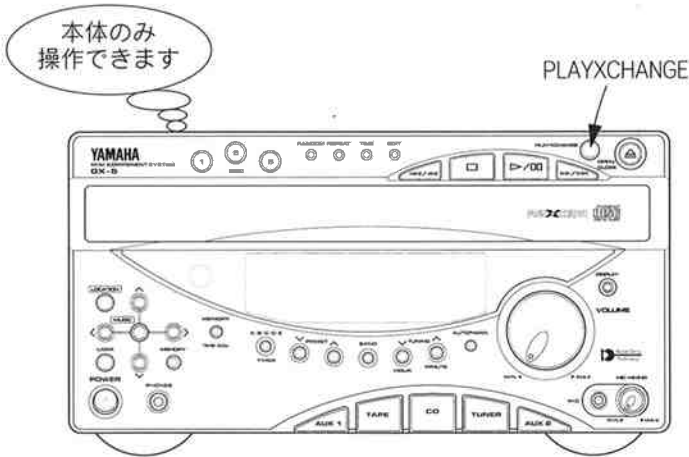
演奏中に他のディスクを
交換するには

プレイエクスチェンジ
PLAYXCHANGEボタンを押す



- 演奏中にプレイエクスチェンジPLAYXCHANGEボタンを押すと、CDを演奏したままトレイを開閉できます。演奏中に他のディスクの交換や取り出しができます。このとき、DISCボタン(本体)とDISC SKIPボタン(リモコン)の操作はできません。

注) 複数のディスクにわたってプログラム選曲した場合は、PLAYXCHANGE操作はできません。



聞きたい曲を聞くには
(ダイレクト選曲演奏)

10-KEYで曲番を指定する

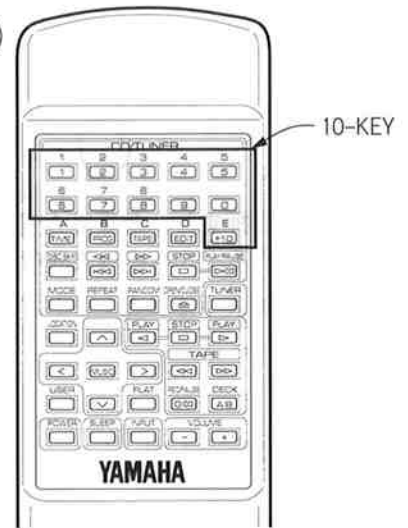
- 1 ~ 0 ボタン : 1の位を指定
- +10 ボタン : 10の位を指定

たとえば、12曲目を選ぶときは

+10 → 2 と押します。
(3秒以内に)

- 選んだ曲の頭から演奏を始めます。
- CDに入っている曲数より大きい曲番を選ぶと、最終曲を演奏します。

リモコンのみ
操作できます




CDを聞くには

CDを聞くには


とびこして聞くには (自動頭出し演奏)

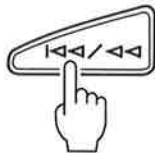
次の曲の頭から聞くには

演奏中に、 スキップボタンを押す



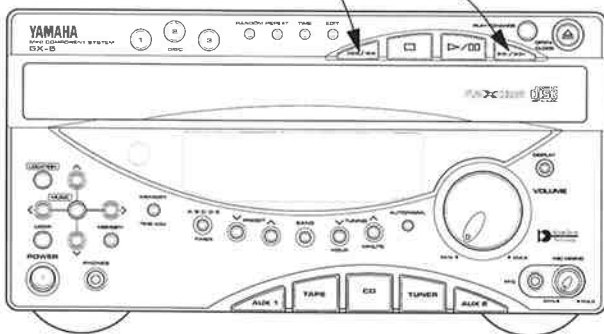
演奏中の曲を聞き直すには

演奏中に、 スキップボタンを押す



- くり返して押すと、曲番は大きく>>> (小さく<<<)なり、曲番表示に表示された曲から演奏が始まります。
- ランダム演奏中は後退(<<<)して、とびこすことはできません。

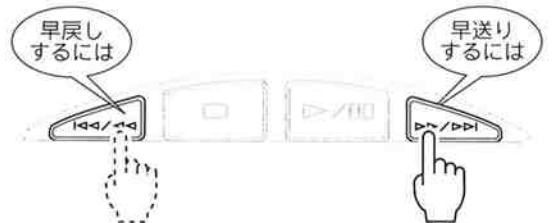
スキップ/サーチ



注) >>>/>>>, <<</<<< ボタンは、チョン押しではスキップボタン、連続押しではサーチボタンとして働きます。

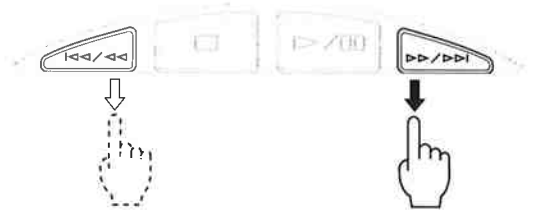
聞きたい所をさがすには (早聞き演奏)

1 演奏中に、サーチボタンを押し続ける



(1/4の音量)

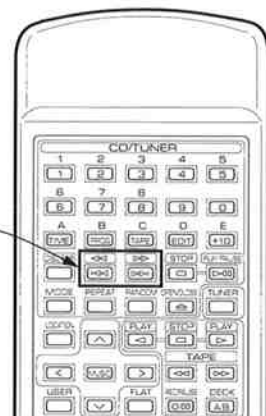
2 聞きたい所で、サーチボタンから指を離す



- その位置から演奏が始まります。(元の音量に戻る)

- PAUSE (一時停止) 中でもサーチ操作はできます。(音声なし)

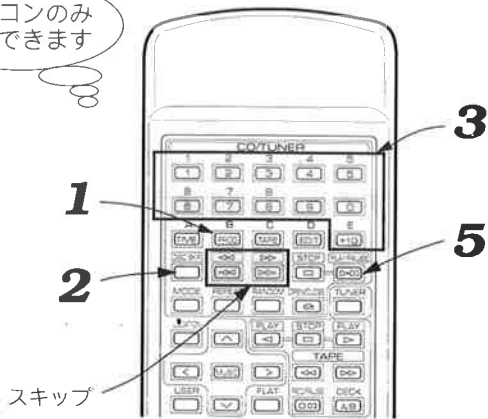
スキップ/サーチ



聞きたい曲を聞きたい順に
記憶させて聞くには
(プログラム演奏)

聞きたい曲を最大で20曲までプログラムして、好きな順に聞くことができます。
プログラムする曲は、3枚のディスクから選べます。

リモコンのみ
操作できます



プログラムの確認/訂正

1. 停止中に、^{プログラム}PROGボタンを押す

プログラムセット中は、PROGボタンを押す必要はありません。

2以降の操作をしてください。



2. スキップボタン(◀▶)または(▶▶)を押す

押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを確認できます。



3. プログラムを訂正したいとき

訂正したいプログラムを表示させ、正しいディスク番号・曲番をDISC SKIPと10-KEYボタンで選びます。

注) 演奏中や一時停止中にプログラムの確認や訂正はできません。

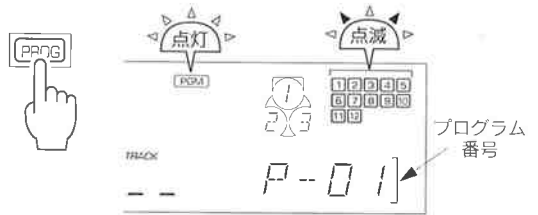
プログラムの解除



停止中に ^{ストップ}STOPボタンを押す

プログラムされた内容はすべて解除されます。またトレイを開けたり電源を切ると同様に解除されます。

1 停止中に、^{プログラム}PROGボタンを押す

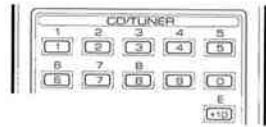


2 ディスクを選ぶ

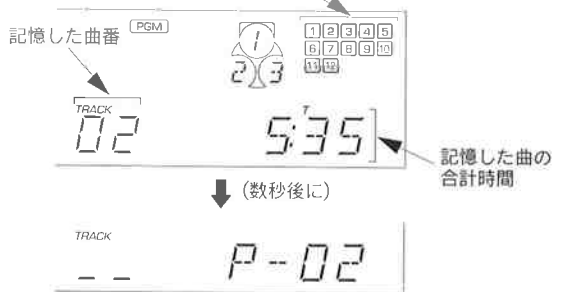


- 同一ディスクをプログラムする場合は、操作する必要ありません。③の操作をしてください。
- ディスクを選ぶとき、本体のDISC1~3ボタンでも選べます。

3 曲番を選ぶ



プログラムした曲番が点灯し、残りの曲番が点滅します。



4 手順②・③をくり返して好きな曲をプログラムする(20曲まで選べます)

5 ^{プレイポーズ}PLAY/PAUSEボタンを押す



- プログラム演奏がスタートします。

CDを聞くには

順不同で聞くには (ランダム演奏)

ランダム
RANDOMボタンを押す



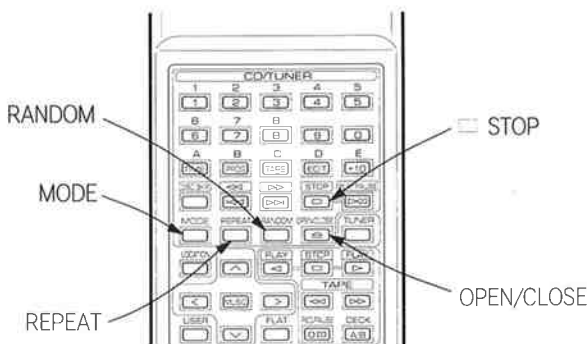
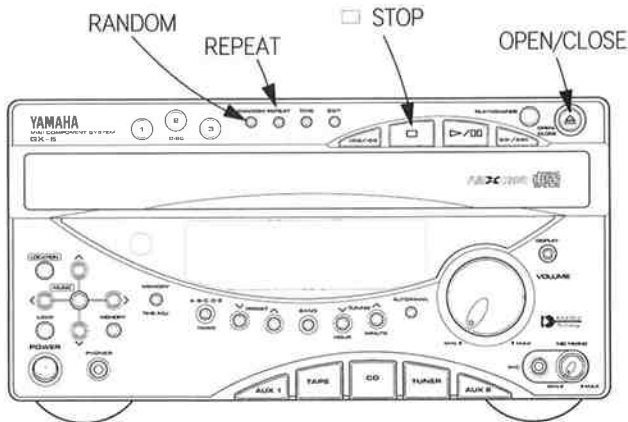
- 全ディスクのランダム演奏をしたい場合は、MODE ボタンでオールディスクモードを設定してください。(20ページ参照)

シングルディスクモード : 1枚のディスクをランダム演奏
 オールディスクモード : 全ディスクをランダム演奏

注) プログラム選曲をすると、ランダム演奏ができません。

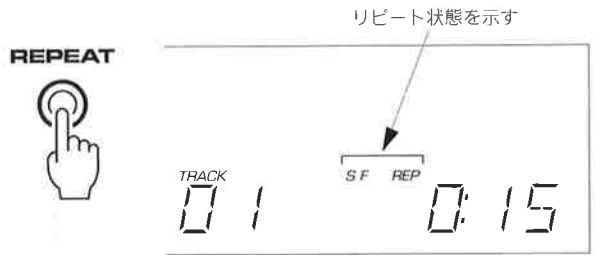
解除のしかた

□ STOP または RANDOM ボタンを押します。また、OPEN/CLOSE ボタンを押してトレイを開けると解除されます。

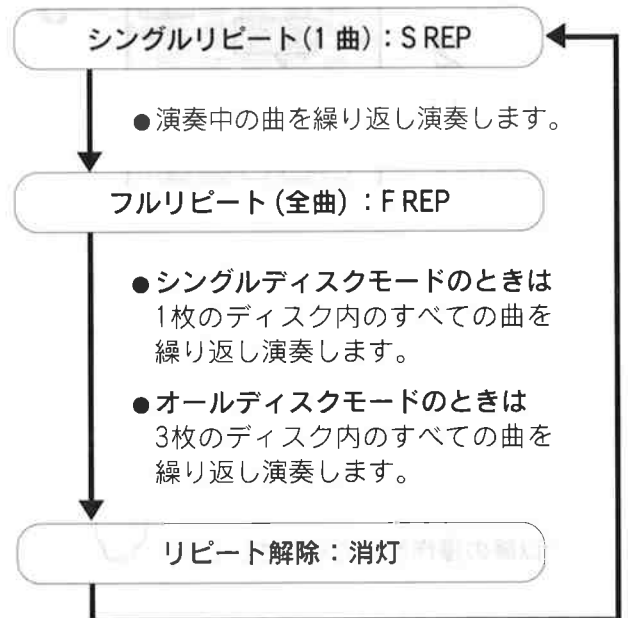


くり返し聞くには (くり返し演奏)

リピート
REPEATボタンを押す



- ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



- プログラム演奏・ランダム演奏もくり返し演奏できます。

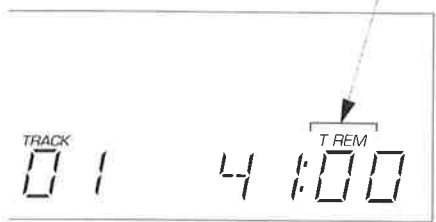
注) CDエディット(41~43ページ)のリピートはできません。

CDを聞くには

演奏時間の表示を
切り換えるには

タイム
TIMEボタンを押す

TIME



● ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

例) 2曲目を演奏しているとき

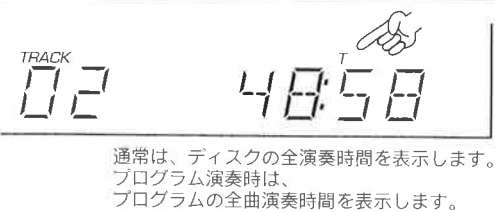
曲ごとの演奏経過時間 (消灯)



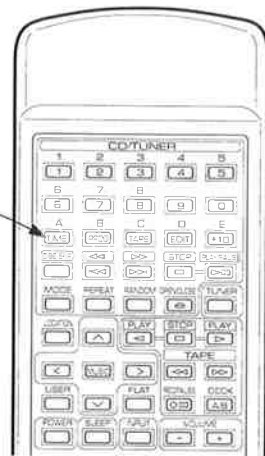
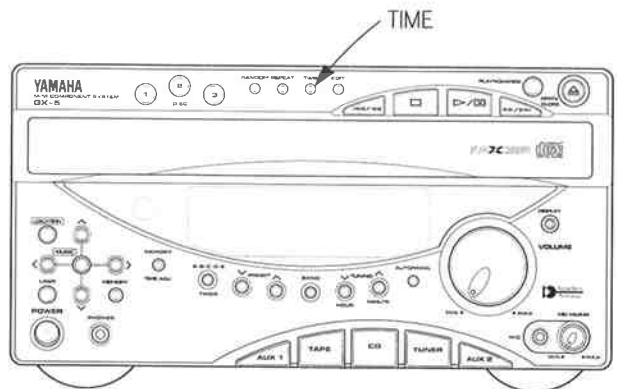
曲ごとの残り時間 (REM表示)



総演奏時間 (T表示)



今聞いているところから、
CDの終わりまでの残り時間 (T REM表示)

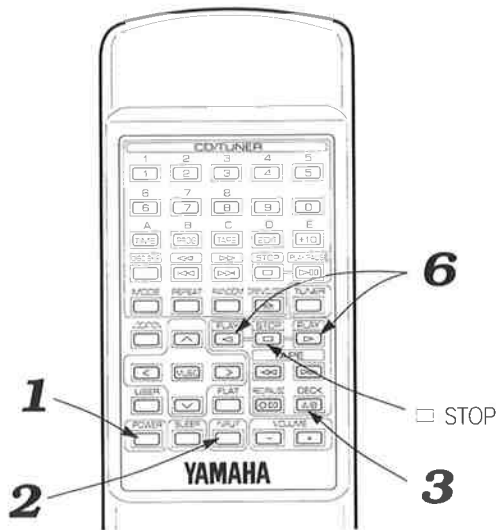
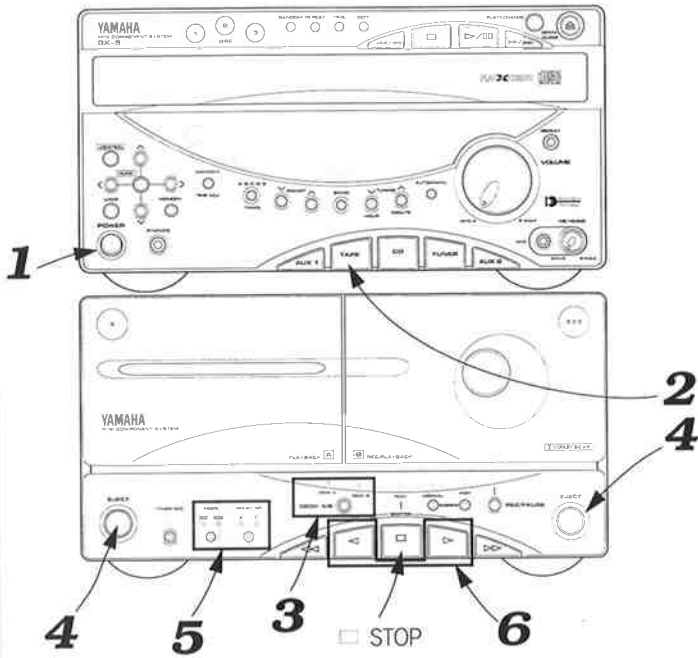


- ランダム演奏中は、総残り時間の表示はしません。
- お使いになるCDによっては、ジャケットなどに記載されている演奏時間に、曲間部の時間が含まれていないため、表示内容が合わないことがあります。
- 16曲以上入ったCDをお使いのときは、次のような場合 "----" が表示されます。
 - ① 16曲目以降を演奏中に、残り時間に切り換えた場合。
 - ② プログラム選曲で16曲目以降の曲番を記憶した場合。
- プログラム選曲の総演奏時間が100分を超えた場合、3桁目の表示はしません。
- プログラム設定中にTIMEボタンを押すと、プログラムの総演奏時間を一旦表示します。
- テーププログラム設定中に、TIMEボタンを押すと、設定したテープの長さ(片面)に対する残量時間を一旦表示します。

テープを聞くには

ふつうに聞くには

デッキA、デッキBのどちらでも再生できます。



●音量は17ページをごらんのうえ調整してください。

●デッキA(デッキB)を再生中に、デッキB(デッキA)に切り換えて聞きたい場合は、操作③～⑥の手順を行ってください。

1 電源を入れる

POWER ボタンを押す



2 ファンクションをTAPEにする

リモコン

本体



リモコンは数回押して、
TAPEにする

3 デッキを選ぶ



DECK A

DECK B

DECK A/B



4 テープを入れる

テープを入れるデッキ側の
イジェクト
EJECTボタンを押す



5 トルビーノイズリダクション モード DOLBY NR と MODE を選ぶ

●選んだドルビーNRの
表示ランプが点灯します。

OFF (消灯)	ドルビーNR録音されていないテープ	B	C
	ドルビー-BNR録音されているテープ	○	○
	ドルビー-CNR録音されているテープ	○	○

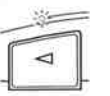
DOLBY NR



※ドルビーNRについては、59ページ参照

6 聞きたい面をスタートさせる

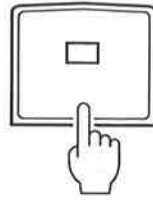
B面(反対の面)を再生するとき



A面(手前の面)を再生するとき



テープを止めるには

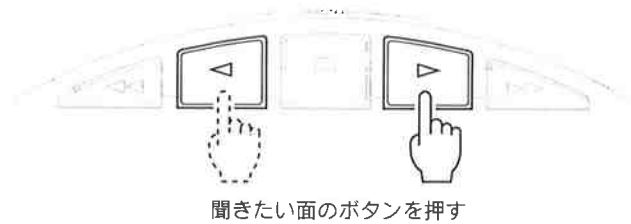


STOPボタンを押す

- 再生中に、他のファンクションボタンを押すと、テープは自動的に止まります。

ワンタッチ再生

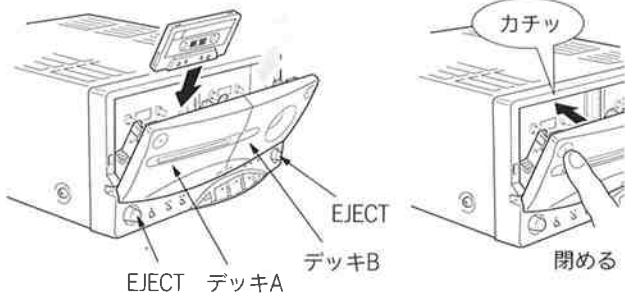
テープが入っていれば、他のファンクションを再生中でも、ワンタッチでテープを再生することができます。(CD演奏中の場合は、CDストップします。)



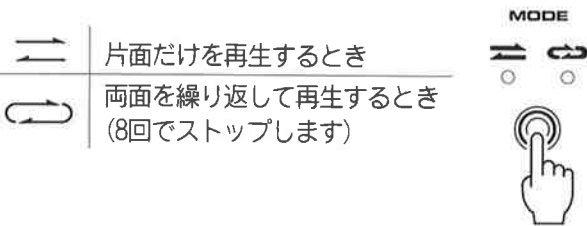
聞きたい面のボタンを押す

- 選んだデッキの表示ランプが点灯します。

テープを入れる

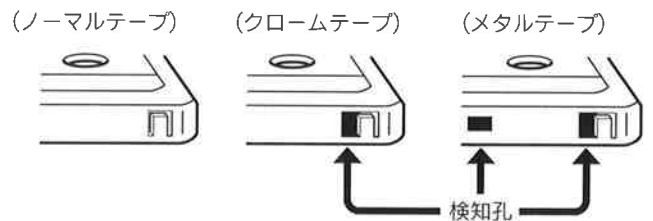


- 選んだモードの表示ランプが点灯します。



オートテープセレクト機構について

テープの検知孔によって、ノーマルテープ、クロームテープ、メタルテープを自動的に判別するようになっています。



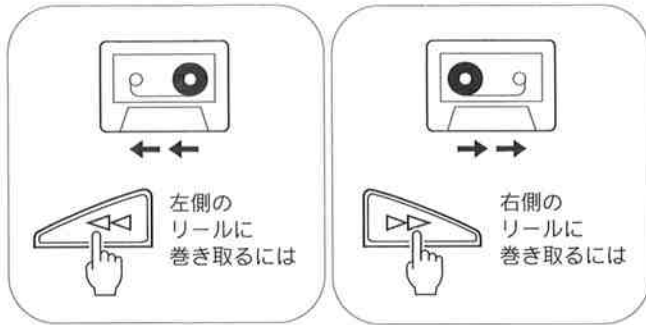
ご注意

カセットテープを取り出すときは、STOPボタンを押して停止状態にして、EJECTボタンを押してください。

テープを聞くには

テープを早く巻き取るには

停止中に◀◀ または ▶▶ ボタンを押す



- 早巻き方向のDIRECTION表示ランプが早く点滅します。
ディレクション
- お望みのところまで巻き取ったら、 STOPボタンを押します。
ストップ
- テープ早巻き中にテープの端まで送ったときは、MODE (リバースモード)により次のように自動再生します。
モード

	▶▶ 早巻き中	◀◀ 早巻き中
	ストップする	ストップする
	◁ 方向を再生する	▷ 方向を再生する

曲の頭出しをするには (自動頭出し演奏)

再生中に◀◀ または ▶▶ ボタンを押す

■ A面(手前の面)を聞いているとき ■



■ B面(裏の面)を聞いているとき ■



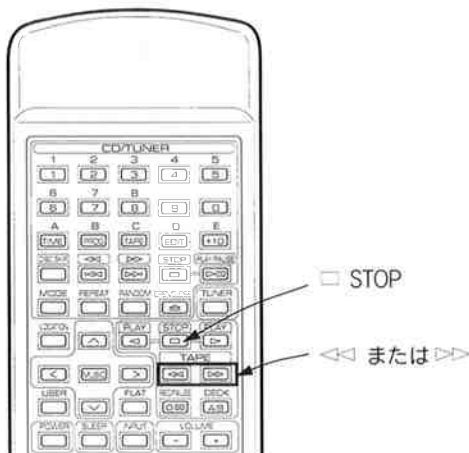
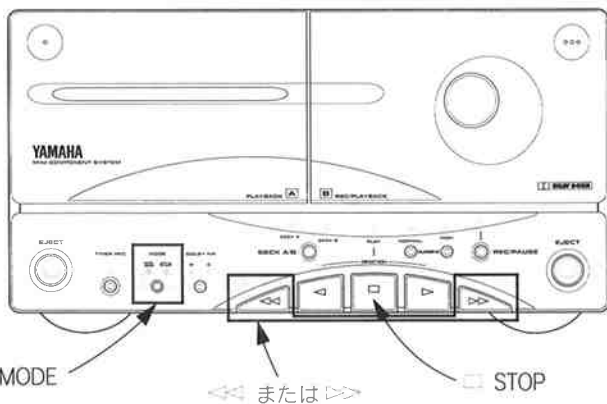
- 頭出しをする方向のDIRECTION表示ランプがゆっくり点滅します。
ディレクション

自動頭出し演奏が正しく動作しないのは？

次のようなテープを使うと、自動頭出し演奏が正しく動作をしないことがあります。

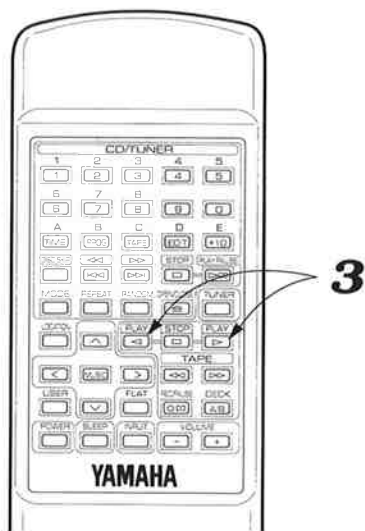
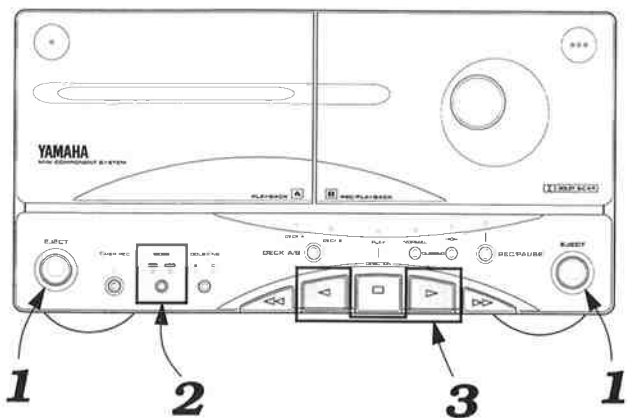
- 録音レベルが低すぎたり(音が小さい)、会話など音声がとぎれているとき。
- テープの曲間(無音部)が4秒以下のとき。
- 音が非常に小さい部分が長く続く曲や、演奏や歌声が全く入っていない部分があるとき。
- 曲間に大きな雑音が録音されているとき。

※ 曲の始めの部分や終わりの部分で頭出しすると、1つ目の無録音部分でテープが止まらなことがあります。



テープを聞くには

テープAとテープBを連続して
聞くには(連続再生)



1 両方にテープを入れる

2 モードを“”にする

● “”では、連続再生できません。

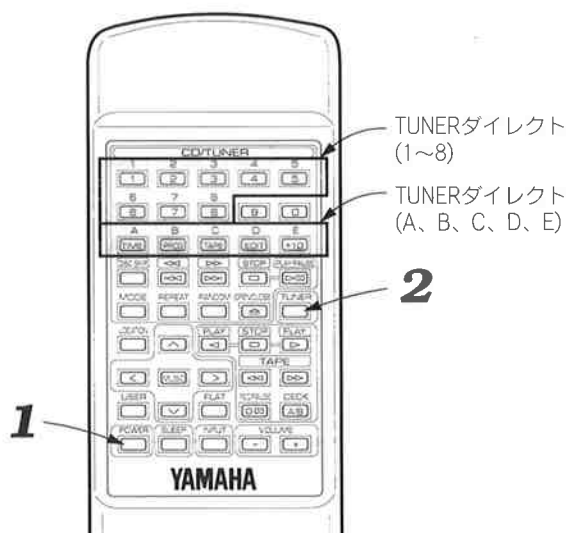
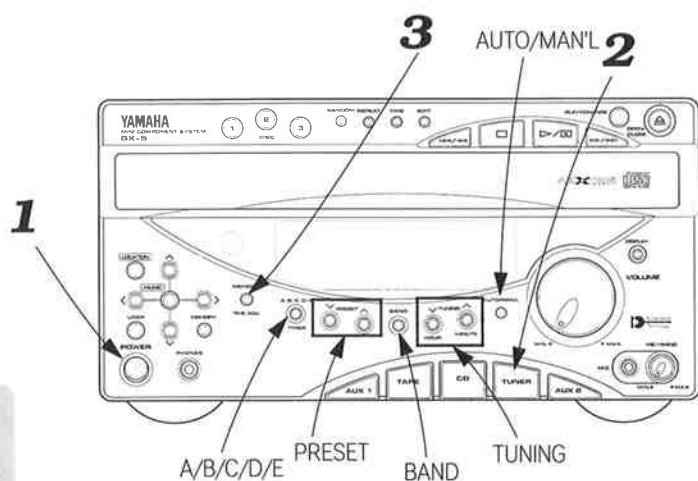
3 または ^{プレイ}PLAYボタンを押す

● 始めるPLAYボタンによって、次のような順序で連続再生します。

ボタン操作	再生順序
	<p>テープAのA面(手前の面)から再生します ※ テープBのB面が8回再生し終わったところでストップします。 ※ デッキA/B選択がBの場合は、テープBから再生します。</p>
	<p>テープAのB面(反対の面)から再生します ※ テープBのB面が8回再生し終わったところでストップします。 ※ デッキA/B選択がBの場合は、テープBから再生します。</p>

ラジオ放送を聞くには

放送局を記憶させるには
(オートメモリー)



1 電源を入れる

POWER ボタンを押す

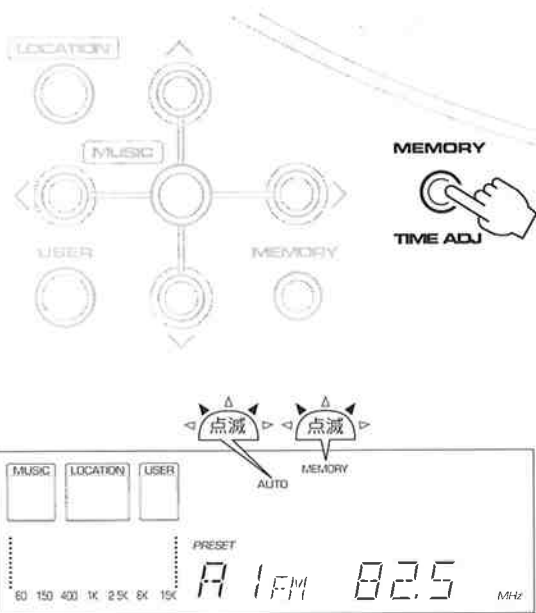


2 ファンクションをTUNERにする

TUNER ボタンを押す



3 MEMORYボタンを約2秒間押し続ける (オートメモリーをスタート)



チューナーの記憶保持について

一週間は電源コードを電源コンセントから外しても、チューナーの記憶内容は消えずに記憶しています。ただし、一週間以上電源コードを電源コンセントから外すと、記憶した内容が消えることがあります。そのときは、再び放送局を記憶させてください。

参考

オートメモリーや自動同調しているときに、周囲に妨害電波があると、そこで自動停止することがあります。このようなときは、マニュアルメモリーで記憶させてください。

A～Eのグループにそれぞれ8局、合計40局記憶(メモリー)することができます。

手動で記憶させるには (マニュアルメモリー)

オートメモリーで、電波が弱くて記憶されないときや電波が強すぎて周波数がずれるとき、または、記憶内容の一部を変えたいときは、次の操作をしてください。

1. チューナー TUNERボタンを押す。
2. バンド BANDボタンで希望のバンドを選ぶ。
3. チューニング TUNINGボタンの \sphericalangle または \sphericalangle で希望の放送局を選ぶ。

自動同調

オート マニュアル AUTO/MAN'Lボタンでオートを点灯させる。

\sphericalangle (ダウン) ボタン : 周波数が下がる方向に放送局を捜し、局があると停止する。

\sphericalangle (アップ) ボタン : 周波数が上がる方向に放送局を捜し、局があると停止する。

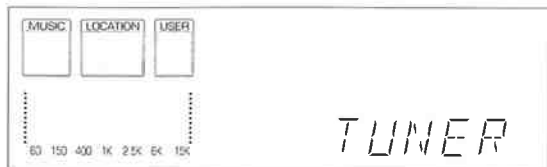
手動同調

オート マニュアル AUTO/MAN'Lボタンでオートを消灯させる。

\sphericalangle (ダウン) ボタン : 一回押すごとに、1ステップずつ周波数が下がり、押し続けると連続して周波数が下がります。

\sphericalangle (アップ) ボタン : 一回押すごとに、1ステップずつ周波数が上がり、押し続けると連続して周波数が上がります。

4. MEMOリー ボタンを押す。
⬇ (5秒以内に)
5. A/B/C/D/Eボタンで記憶させたいグループを選ぶ。
(リモコンのTUNERダイレクトボタンA~Eも使用できます。)
⬇ (5秒以内に)
6. 本体のPRESETボタンの \sphericalangle または \sphericalangle で記憶させたい番号を選ぶ。
(リモコンのTUNERダイレクトボタン1~8も使用できます。)
⬇ (5秒以内に)
7. もう一度、MEMOリー ボタンを押すと、選んだプリセット番号の所に記憶されます。



TUNER表示して、数秒後に周波数表示に切り替わります。

- FMの放送局をA1から順に記憶し、次にAMの放送局を記憶します。
- 周波数の低い方から順番に記憶します。
- 最大40局まで記憶します。
- 記憶が終わると、MEMORYの点滅が消えて、最初に記憶された放送局が聞こえます。(AUTOとTUNEDは点灯します。)
- 基本的にFMは、A、B、Cのグループ内に、AMはD、Eのグループ内に記憶しますが、受信できる局が少なく規定のグループに達しない場合は、グループを詰めて記憶します。(受信できる局がなくても、FM、AMで1グループずつは確保します。)
グループ内で余ったプリセット番号や、余ったグループのプリセット番号は、そのバンドのスタート周波数(一番低い周波数)を記憶します。
- 放送局を記憶させたあと、もう一度オートメモリーさせると、先に記憶されている局は消えます。

参考

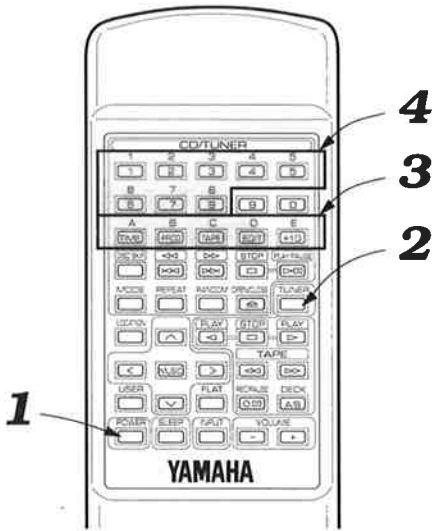
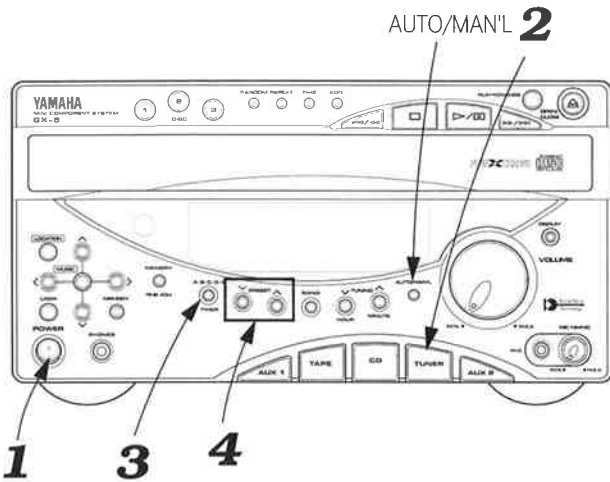
- FM放送を記憶させるときは、オート マニュアル AUTO/MAN'Lボタンを使ってステレオ/モノラルを設定することができます。記憶させていない番号に、ステレオモードを記憶しておけば、“ザー”という雑音がなくなります。

AUTO 点灯 オートステレオ
AUTO 消灯 強制モノラル

ラジオ放送を聞くには

記憶した放送局を呼び出すには

あらかじめ、「放送局を記憶させるには」の説明をごらんになり、放送局を記憶させておいてください。
(記憶させないと、呼び出すことはできません。)



●音量は17ページをごらんのうえ調整してください。

注) テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。

注) コンピューターやワープロなどのデジタル機器の近くでラジオ放送やテレビ音声を受信すると、雑音が入ることがあります。このようなときは、この製品をその場所から離してください。

1

電源を入れる

POWER ボタンを押す



2

ファンクションをTUNERにする

TUNER ボタンを押す



3

記憶させたグループを選ぶ

本体

リモコン

A/B/C/D/E



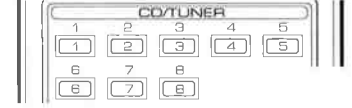
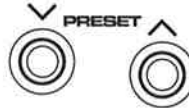
TIMER

4

記憶させた番号を選ぶ

本体

リモコン



"A6" にFM82.5MHzの放送局が記憶されています。

AM/FMステレオ放送を聞くには

オート マニュアル オート
AUTO/MAN'Lボタンを押し、AUTOを点灯させます

AUTOMAN'L



ステレオ放送を受信すると点灯します。
(電波が弱いと点灯しないことがあります。)

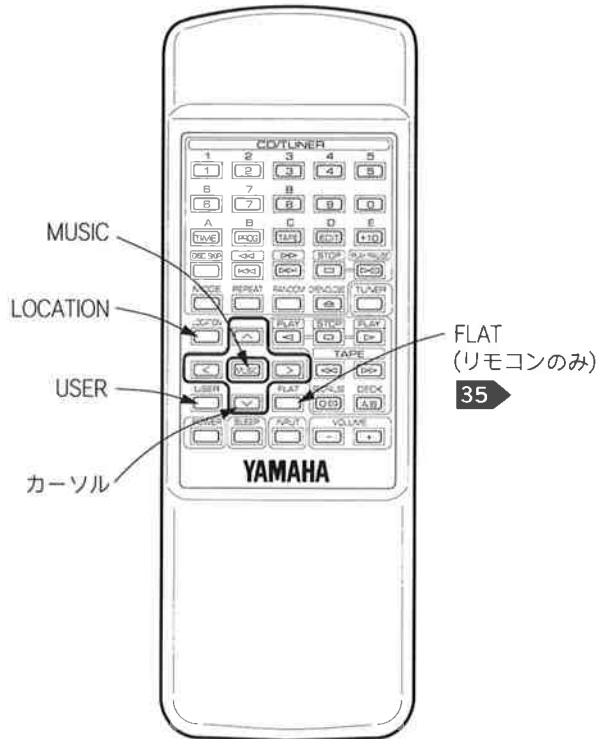
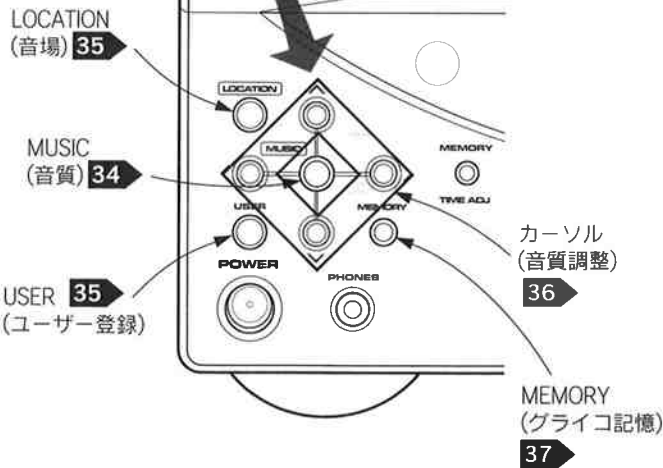
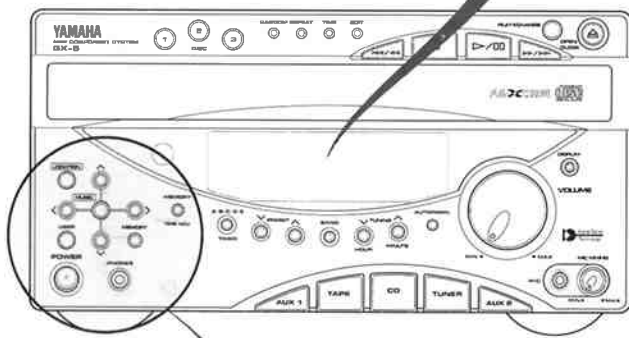
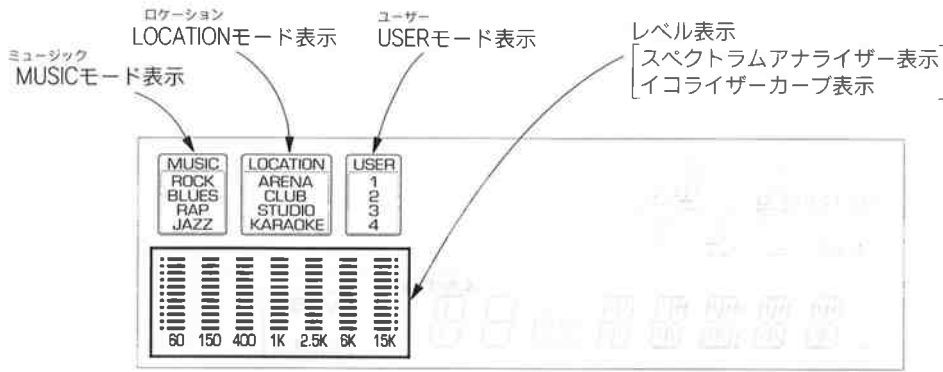


ラジオ放送を聞くには

お好みの音質／音場で聞くには

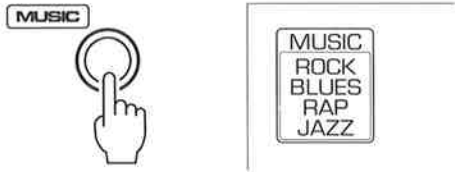
本機は、あらかじめプリセット（記憶）されている音質効果（ミュージックモード）や音場効果（ロケーションモード）を呼び出して、その臨場感と効果をお楽しみいただけます。

また、音質効果では新たに希望の音質（イコライザーカーブ）をも作ることができ、これらの音質／音場効果を組み合わせて、ユーザー登録（4種類）することができるユーザーモードがあります。



好みの音質(ミュージックモード)を呼び出すには

ミュージック MUSICボタンで音質を選ぶ



● ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



お聞きになる音楽のジャンルに合わせて、選びます。

ミュージックモード	特長
ロック ROCK	低域と高域を強調します。ロック系の迫力のある音楽を聴く場合に適しています。
ブルース BLUES	低域と中域をほどよく強調します。ブルース系の落ち着いた音楽を聴く場合に適しています。
ラップ RAP	低域をほどよく強調します。ラップ系のリズム／ベースを重視した音楽を聴く場合に適しています。
ジャズ JAZZ	中域をほどよく強調します。ジャズ系のアコースティックな音楽を聴く場合に適しています。
オフ OFF(消灯)	ミュージックモードの解除(工場出荷時はフラット)

● 操作時は、選んだ音質(ミュージックモード)のイコライザーカーブが表示されます。しばらくすると、通常が表示(スペクトラムアナライザー表示)に戻ります。

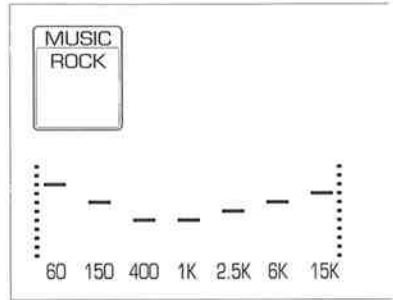
参考

スペクトラムアナライザーとは
各音域(周波数帯域)の信号レベルの大きさを表します。本機では、ピーク(最大)値が一瞬ホールド(保持)されて表示します。

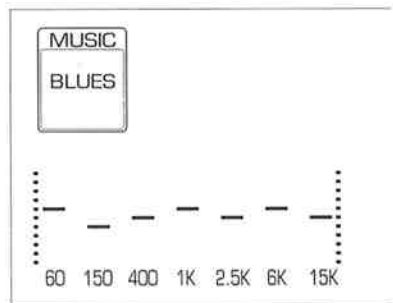
イコライザーカーブとは
周波数特性を表します。

■ 各ミュージックモードのイコライザーカーブ

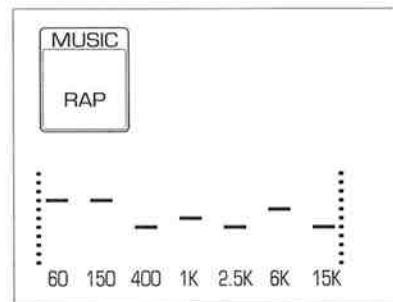
ROCK



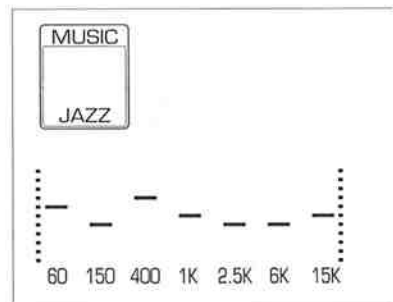
BLUES



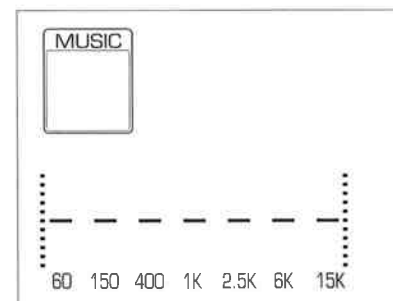
RAP



JAZZ



OFF (消灯)



工場出荷時はフラット

お好みの音場(ロケーションモード)を呼び出すには

ロケーション
LOCATIONボタンで音場を選ぶ



● ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



お聞きになる雰囲気に合わせて、選びます。

ロケーションモード	特長
アリーナ ARENA	高域の反射が多く残響時間の長いホール効果を演出します。
クラブ CLUB	シンパルの響きわたるジャズライブハウスを演出します。
スタジオ STUDIO	レコーディングスタジオの雰囲気を演出します。
カラオケ KARAOKE	歌声の音を小さくします。 (ボーカルミュート機能)
オフ OFF(消灯)	音場効果はなくなります。(フラット)

— 音質／音場効果の録音について —

音質効果をテープに録音することができます。

ただし、音場効果はテープに録音できません。

音質効果を録音したテープを再生するときは、音質効果をOFF(フラット)にしてご使用ください。

注) テープダビングは、テープに録音された音をそのまま録音できますが、音質効果を加えて録音することはできません。

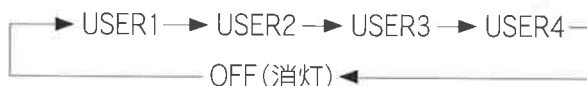
記憶(ユーザー登録)した音質/音場を呼び出すには

ユーザー
USERボタンでUSERナンバーを選ぶ



あらかじめ「ユーザーメモリー」の説明をご覧になり、音質／音場効果を記憶させてください。(37ページ)

● ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



お好みのUSERナンバーを選びます。

音質/音場効果をON/OFFするには

● リモコンの^{フラット}FLATボタンを押すたびに、ON/OFFが切り換わります。



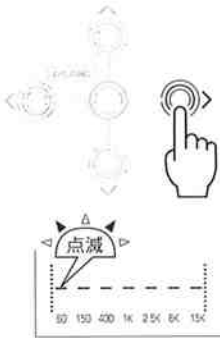
FLAT ON : 音質／音場効果は働きません。(フラット)

FLAT OFF : 音質／音場効果が楽しめます。

● 本体のMUSICボタンとLOCATIONボタンを同時に押すと、音質／音場効果はフラットになります。(ON/OFFはできません)

お好みの音質を作るには

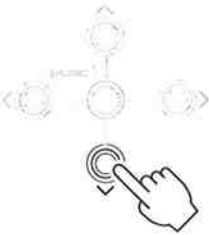
1 カーソルボタンを押す
(\leftarrow 、 \rightarrow 、 \wedge 、 \vee のいずれか1つ)



- 調整できる周波数帯域のレベルドットが点滅し、周波数表示します。

5秒以内に

2 お好みの音質にする



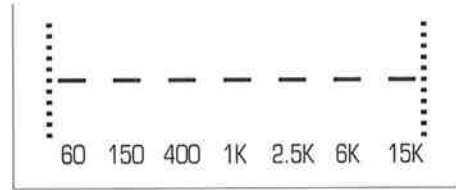
- カーソルボタンで希望の音質(イコライザーカーブ)を作ります。

\leftarrow 、 \rightarrow	調整する周波数帯域を選択
\wedge 、 \vee	レベルを調整 (2dB/1ステップ)

3 作った音質をユーザー登録したい場合は、ユーザーメモリーを行う(次ページ)

- 作った音質は、ミュージックモードのOFFに記憶されます。

■各周波数帯域(音域)の特長は次のとおりです



- 60(Hz) : ベースやドラムの音を強めます。
- 150(Hz) : トロンボーンなどの音にふくらみを与えます。こもった感じの音のときは、この音域のレベルを下げます。
- 400(Hz) : 男性ボーカルにパンチを効かせます。
- 1K(Hz) : 女性ボーカルにハリを与えます。
- 2.5K(Hz) : 弦楽器などに華やかさを与えます。
- 6K(Hz) : フルートなどの音にツヤを与えます。キンキンした感じの音のときは、この音域のレベルを下げます。
- 15K(Hz) : シンバルやトライアングルの音に、繊細な響きを与えます。

音質効果の記憶保持について

- 一度作った音質を再び変更すると、先に作った音質は消え、新たな音質を記憶します。
- 作った音質またはユーザーメモリーは、一週間以上電源コードを電源コンセントから外すと、記憶した内容が消えることがあります。そのときは、再び記憶させてください。

お好みの音質

お好みの音質/音場を記憶するには (ユーザーメモリー)

USER1～4に記憶(登録)できます。

1 記憶したい音質を設定する

- 前ページの①～②の操作をしてください。
または、MUSICボタンで音質を選びます。
(34ページ)

2 記憶したい音場を選ぶ



3 記憶できる状態にする

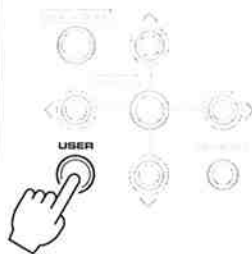


メモリー
MEMORYボタンを押す

- MEMORY、USERナン
バー、設定したモード
(LOCATION/MUSIC)、
イコライザーカーブ表
示が点滅します。

5秒以内に↓

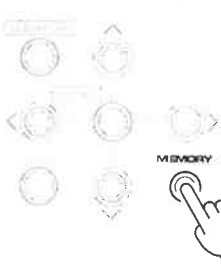
4 ユーザー USERナンバーを選ぶ



ユーザー
USERボタンを押して、
記憶したいUSERナンバ
ーを選ぶ

5秒以内に↓

5 記憶する



メモリー
MEMORYボタンを押す

- 記憶されると、
MEMORYの文字が右か
ら左へスクロール(流
れ)します。
- MEMORY表示が消え、
他の表示は点滅から
点灯に変わります。

- 設定した音質や音場が、選んだUSER
ナンバーに記憶(登録)されます。

ユーザーメモリーにファンクションも記憶することができます。

(ファンクションを切り換えると、自動的に設定したUSERナンバーを呼び出してくれます。)

1. MEMORYボタンを押す。

5秒以内に↓

2. 記憶したいファンクション(TUNER、CD、TAPE、 AUX1、AUX2)を選ぶ。

5秒以内に↓

3. USERボタンを押して、USERナンバーを選ぶ。

5秒以内に↓

4. MEMORYボタンを押す。

表示例) USER2にCDを記憶した場合



設定したUSERナンバーを示す

設定したファンクションを示す

U1	USER1
U2	USER2
U3	USER3
U4	USER4
U0	解除(記憶しない)

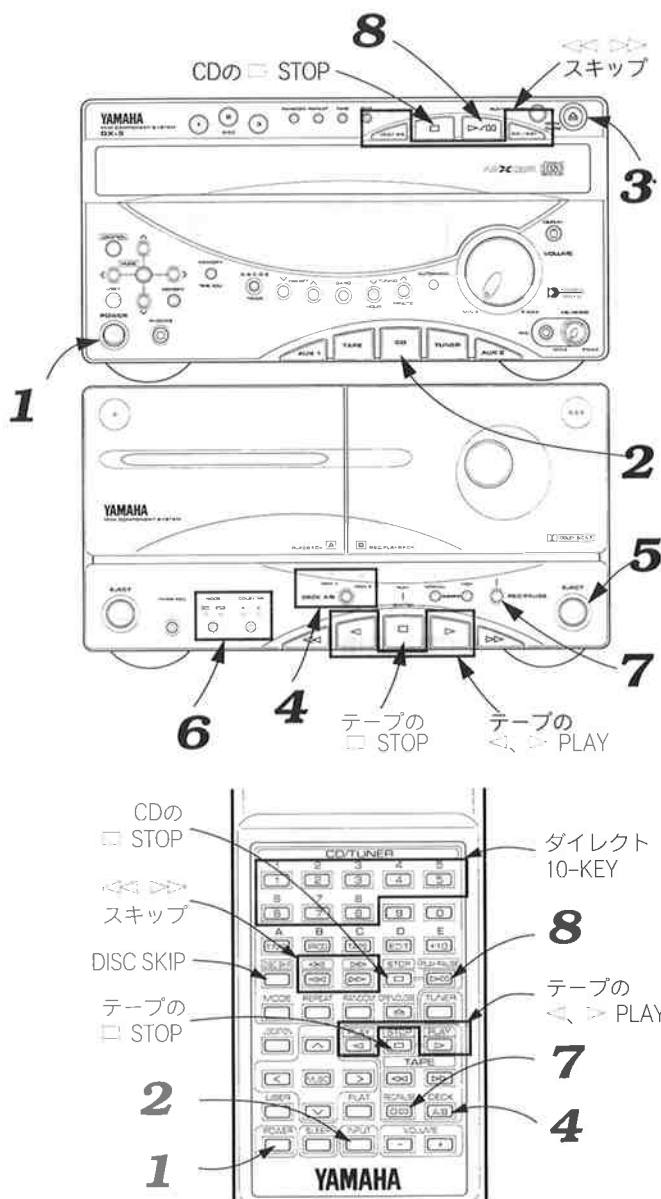
TU	TUNER
CD	CD
TA	TAPE
A1	AUX1
A2	AUX2

注) 一度記憶したUSERナンバーに、もう一度記憶すると、先に記憶した音質／音場は消えます。

CDを録音するには

ふつうに録音するには

録音はデッキBで行ないます。デッキAでは録音できません。



お知らせ

- 本機は、音質効果を加えて録音されます。音質効果を加えないで録音するには、フラットの状態でご使用ください。(35ページ)
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(59ページ)
- 大切な録音をされる前に、あらかじめ試し録音で間違いなく録音されることを確かめましょう。
- 録音レベル(音量)は、自動録音レベル(ALC)回路によって、自動的に調整されます。
- 万一、本機およびカセットテープなどの不具合により、正常に録音されなかったり、再生できなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

1 電源を入れる

2 ファンクションをCDにする

3 録音したいCDを入れ、ディスク

ディスクトレイの開閉は
オープン/クローズ
OPEN/CLOSEボタンを押す



4 デッキ DECK Bを選ぶ

デッキ DECK A/Bボタンを押す



5 デッキ DECK Bに録音用テープを入れる

デッキ DECK B側のEJECT
ボタンを押す

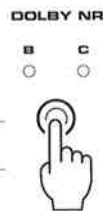


- テープを入れる前に、走行方向を選んでください
A面(手前の面)の場合は ボタンを押す
B面(反対の面)の場合は ボタンを押す

6 ドルビーノイズリダクション **DOLBY NR** と **MODE** を選ぶ

- 選んだドルビー-NRの表示ランプが点灯します。

DOLBY NR	モード
OFF(消灯)	ドルビー-NR録音しないとき
B	ドルビー-BNR録音するとき
C	ドルビー-CNR録音するとき



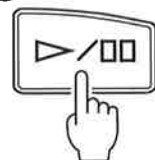
7 録音待機状態にする

レックポーズ
REC/PAUSEボタンを押す



8 録音をスタートさせる

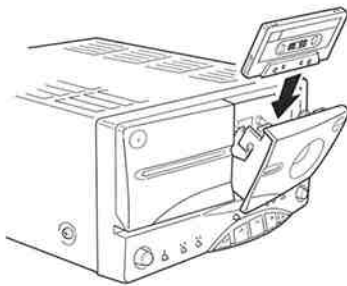
CDの **PLAY/PAUSE**
ボタンを押す



トレイを閉める

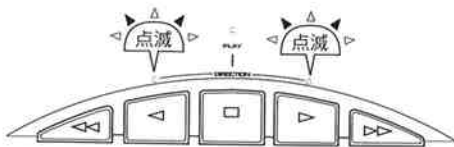
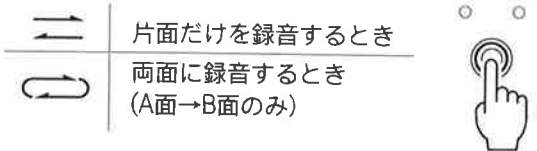


- DECK Bの表示ランプを点灯させます。



テープの検知孔によって、ノーマルテープ、クロームテープ、メタルテープを自動的に判別するようになっています。

- 選んだモードの表示ランプが点灯します。

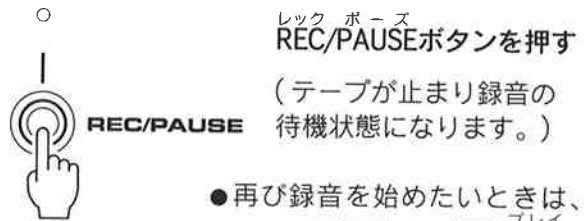


- CDの演奏が始まる少し前に、録音が始まります。

テープの始めの録音できない部分は、あらかじめ巻き取っておいてください。



録音を一時的に止めるには



レックポーズ
REC/PAUSEボタンを押す

(テープが止まり録音の待機状態になります。)

- 再び録音を始めたいときは、テープの また PLAYボタンを押します。

CDを変更して録音するには

- 録音中にCDの STOPボタンを押す。
 - 約4秒後にテープも止まり、録音の待機状態になります。
- CDを変更して、つぎに録音したい曲を選ぶ。

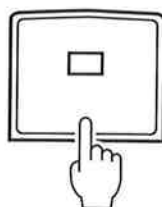
ディスクスキップ
CDの変更... DISC SKIPボタンを押し、希望のディスクにします。

選曲 CDのダイレクト10-KEYボタンを使い選曲します。

 - ふたたび録音が始まります。
 - 選曲は / (スキップ) ボタンでもできますが、選曲後、CDの PLAY/PAUSEボタンを押してください。

CDをプログラム演奏やランダム演奏の状態にしても、録音することができます。このとき、次の曲の頭出しに4秒以上の時間がかかるときは、テープが自動的に一時停止します。曲の頭を見つけると再び録音が始まります。

録音を止めるには



テープの STOPボタンを押す

- CDの演奏を止めるには、CDの STOPボタンを押す。

本機は、CDからテープのA面・B面へ自動的に編集録音(CDエディット)することができます。しかも、CDエディットには、次の5種類あります。目的に合わせて使い分けてください。


- 自動編集録音(CDエディット)をスタートさせると、自動的にA面側のテープ先頭まで巻き戻して、必ず▶方向から録音を始めます。また、曲の変わるころでは4秒間のスペース(無録音部分)を作って録音します。

注) CDエディットでの繰り返し(リピート)録音はできません。

テープの終端付近をフェードアウト録音したい。 (フェードアウト：徐々に音が小さくなる)		テープ長に合わせて曲切れしないように録音したい。 (フェードアウト録音はしません)	
エディット (41ページ)	曲順通りに録音します。 	テープエディット (42ページ)	曲順通りに録音します。 <ul style="list-style-type: none"> ●テープの最後で入りきらぬ曲があると自動的に余白となります。 ●曲数が多い場合、B面の最終曲も曲切れしないように余白を作ります。 ●全曲録音した場合、残ったテープは余白となります。
プログラムエディット (41ページ)	プログラム選曲すれば、お好みの曲順で録音できます。 	マニュアルテープエディット (43ページ)	テープ時間に入りきらなくなるまで、曲を自分で選ぶことができます。 <ul style="list-style-type: none"> ●お好みの曲をどんどん選んでも、本機が残りの時間内に入る曲を教えてくださいますのでテープの終わりで曲が途切れる心配がありません。
<ul style="list-style-type: none"> ●A面をテープ終端まで一度録音した後、テープを巻き戻してA面の最後の曲を再び録音し直し、テープ終端付近を自動的にフェードアウト録音します。 ●A面でフェードアウトした曲は、B面の頭から再び録音します。 ●曲数が多い場合、B面の終端付近もフェードアウト録音します。 ●全曲録音した場合は、自動的にストップします。 		オートテープエディット (43ページ)	テープの余白を少なくなるように自動的にプログラムします。 <ul style="list-style-type: none"> ●A面の余白が、少なくなるように自動的に曲の組み合わせをします。曲数が多い場合、B面も同様に残った曲で余白が少なくなるように組み合わせをします。 ●全曲録音した場合、残ったテープは余白となります。

エディット録音

1 CDと録音テープを入れて録音の準備をする

- 38ページの①～⑥の操作をする。
- デッキのMODEは“”を選んでください。

2 自動編集録音をスタートさせる

EDIT




エディット
EDITボタンを押す

- テープ長に余裕があっても、CD演奏終了後に録音は停止します。

シングルディスクモードのとき：CD1枚で終了
オールディスクモードのとき：ディスク番号3のCDで終了

プログラムエディット録音

1 CDと録音テープを入れて録音の準備をする

- 38ページの①～⑥の操作をする。
- デッキのMODEは“”を選んでください。

2 プログラム選曲する

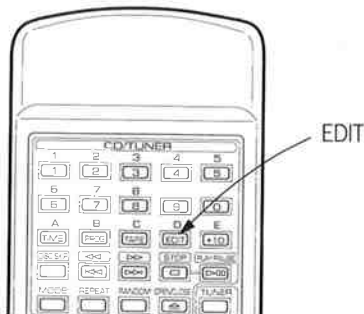
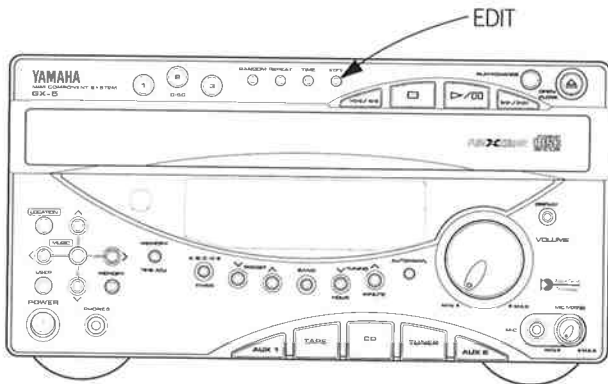
- 23ページの①～④の操作をする。

3 自動編集録音をスタートさせる

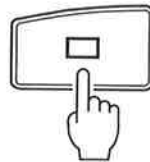
EDIT



エディット
EDITボタンを押す



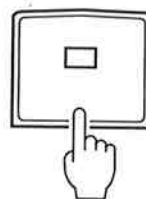
自動編集(エディット)機能を取り消すには



CDの  STOPボタンを押す

※録音が始まっている場合には、テープに4秒間の無録音部分を作って終了します。

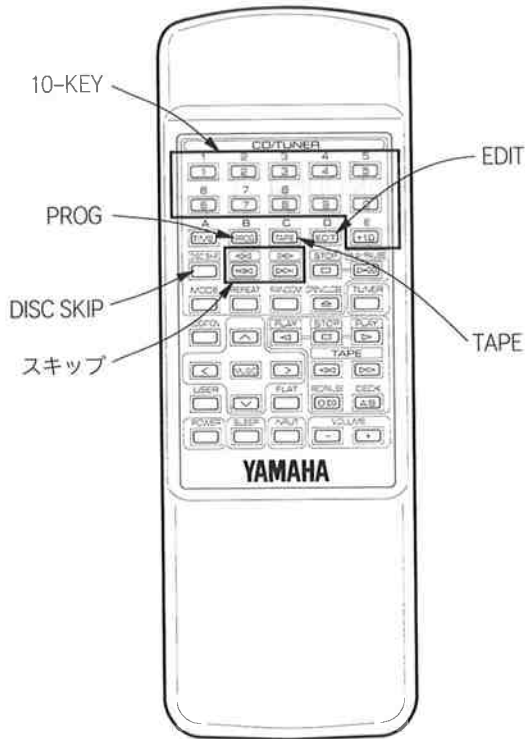
または



テープの  STOPボタンを押す

※CDも自動的に止まります。

テープエディット録音



- テープの録音時間は、ケースやカセット面に表示されている時間よりも多少長めに作られています。そのため、テープの長さを指定しても、テープが余るときがあります。
- “ERR”(エラー)と表示される場合は、テープの残り時間内に入り切らない曲をプログラム選曲したことを表わしています。

1 CDと録音テープを入れて録音の準備をする

- 38ページの①～⑥の操作をする。
- デッキのMODEは“”を選んでください。

2 テープの長さを選ぶ

リモコンのみ
操作できます



テープ
TAPEボタンを押してテープ
の長さに合わせる

→ C46 → C54 → C60 → C90 → 解除 →

- C46、C54、C60、C90以外のテープを使うときは、リモコンの10-KEYを操作して時間を合わせます。

(例)C30のテープを使うとき

C-46、C-54、C-60、C-90のいずれかのポジションで
+10 → +10 → +10 → 0 と押します。

- すでにプログラム選曲されている場合、テープの長さを設定できません。そのときは一度CDのSTOPボタンを押してプログラム選曲を解除してください。

3 自動編集録音をスタートさせる

EDIT

EDITボタンを押す



CDを録音するには

マニュアルテープエディット録音

1 前ページの①～②を行なう

- CDと録音テープを入れて録音の準備をします。
- テープの長さを指定します。

2 A面の録音曲を選ぶ

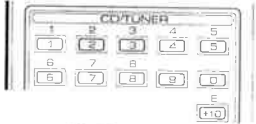


次にA面へ録音したい曲を選ぶ

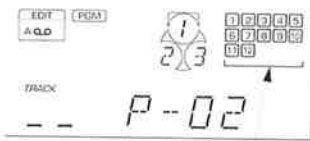
(20曲以上入ったCDでは、19曲目までプログラムできます)



(ディスク番号の指定)



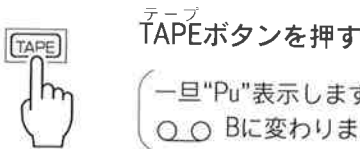
(曲番の指定)



プログラムした曲番が点灯して、テープの残り時間に入る曲番が点滅します。

A面のテープ時間内に入るプログラム選曲が終了したならば、次の③の操作を行ってください。

3 B面の録音曲を選ぶ

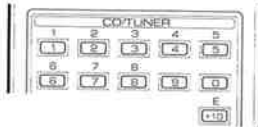


(一旦"Pu"表示します。
○○ Bに変わります。)

次にB面へ録音したい曲を選ぶ



(ディスク番号の指定)



(曲番の指定)

B面のテープ時間内に入るプログラム選曲が終了したならば、次の④の操作を行ってください。

4 自動編集録音をスタートさせる



オートテープエディット録音

1 前ページの①～②を行なう

- CDと録音テープを入れて録音の準備をします。
- テープの長さを指定します。

2 自動選曲をスタートさせる



- 1枚のCD内の曲を設定したテープ長に合わせてA面・B面に自動選曲を行います。
- A面の自動選曲中は、“AP A>”表示、B面の自動選曲中は、“AP B>”表示します。

3 自動編集録音をスタートさせる



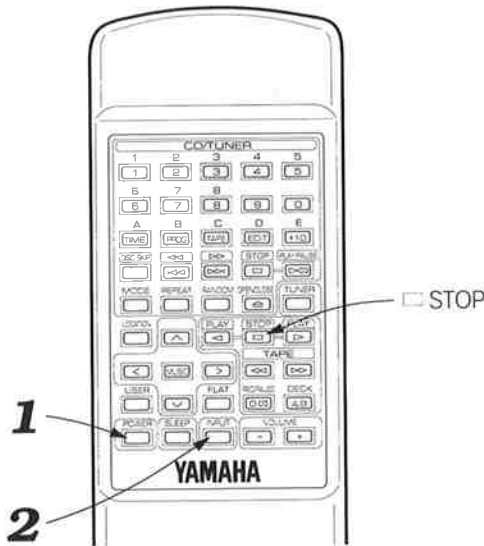
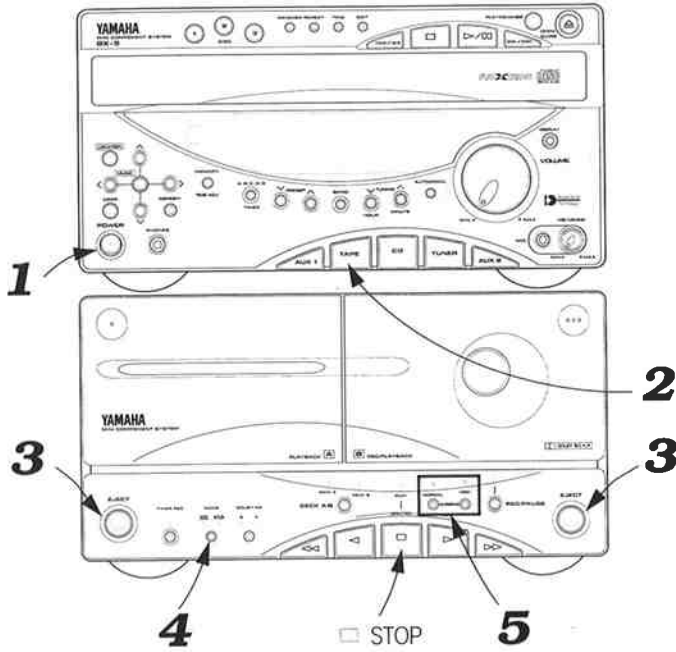
プログラムの確認／訂正

プログラムエディット／マニュアルテープエディット／オートテープエディット録音は、プログラムの確認および訂正ができます。

1. EDITボタンを押す前に行ないます。
2. スキップボタン(<< または >>)を押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを確認できます。
3. プログラムを訂正するときは、訂正したいプログラムを表示させ、正しいディスク番号・曲番をDISC SKIPと10-KEYボタンで選びます。

テープダビングするには

テープダビング時に、音量を調整したり、DOLBY NRを切り換えても録音には影響しません。
テープAに録音されている音そのまま同じレベルでテープBに録音されます。



1 電源を入れる

POWER ボタンを押す



2 ファンクションをTAPESにする

リモコン

本体



リモコンは数回押して、TAPESにする

3 再生用と録音用のテープを入れ

DECK A側とDECK B側のEJECTボタンを押す

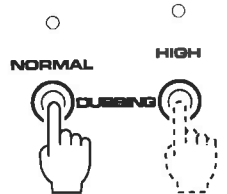


4 モードを選ぶ

● 選んだモードの表示ランプが点灯します。

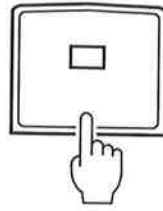


5 テープダビングをスタートさせる



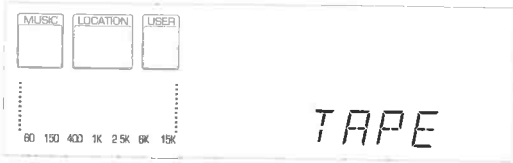
テープダビングするには

テープダビングを止めるには

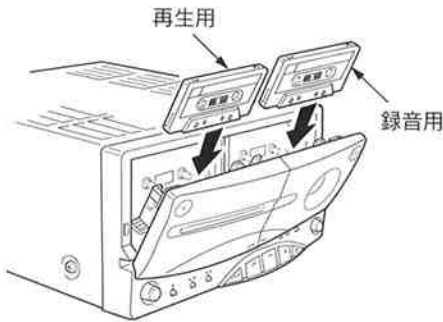


□ ^{ストップ}STOPボタンを押す

テープAとテープBが同時に止まります。



る



- 両面に続けてダビングするときは、同じ長さのテープを使うことをおすすめします。
- どちらか一方のテープが先に終わると、自動的にテープダビングは終了します。

⇒ A面(手前の面)だけをダビングするとき

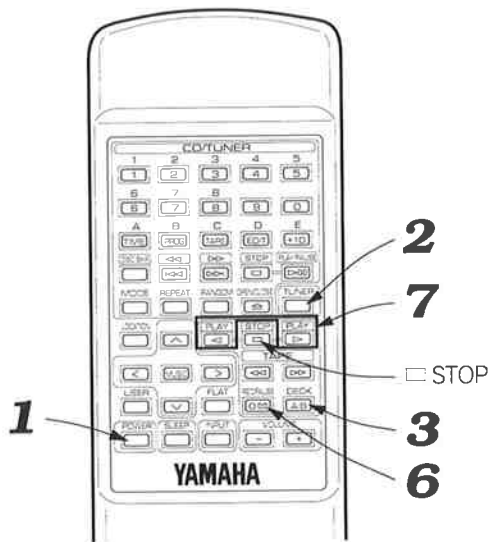
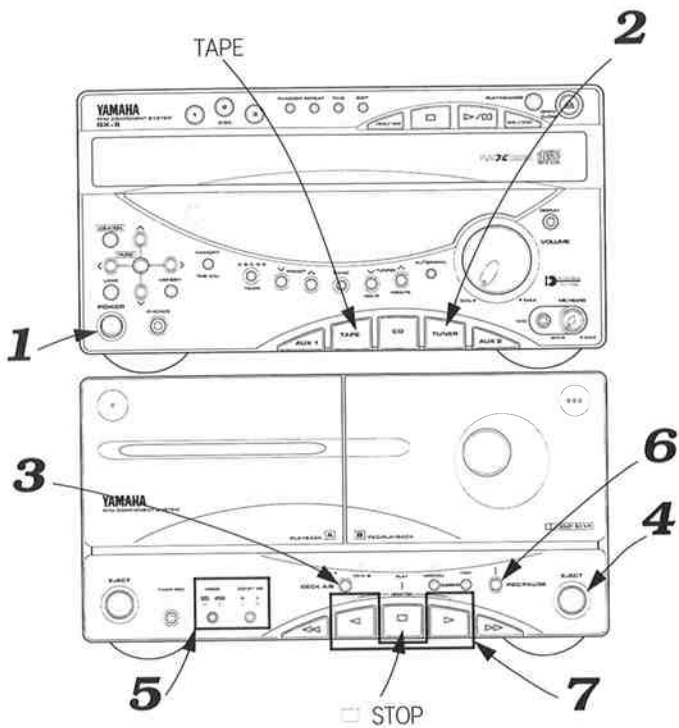
↻ A面(手前の面)B面(反対の面)をダビングするとき

ノーマル
NORMAL 通常の速さでダビング

ハイ
HIGH 約2倍の速さでダビング

- テープのA面(手前の面)からダビングが始まります。

ラジオ放送を録音するには



1 電源を入れる

POWER ボタンを押す

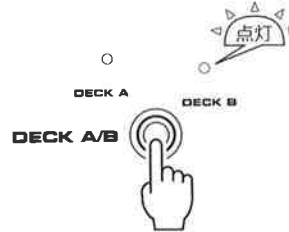
2 ファンクションをTUNERにする

TUNER ボタンを押す



3 DECK Bを選ぶ

デッキ DECK A/Bボタンを押す



4 DECK Bに録音用テープを入れる

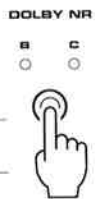
デッキB側のEJECTボタンを押す



5 DOLBY NR と MODEを選ぶ

●選んだドルビー-NRの表示ランプが点灯します。

OFF(消灯)	ドルビー-NR録音しないとき
B	ドルビー-B NR録音するとき
C	ドルビー-C NR録音するとき

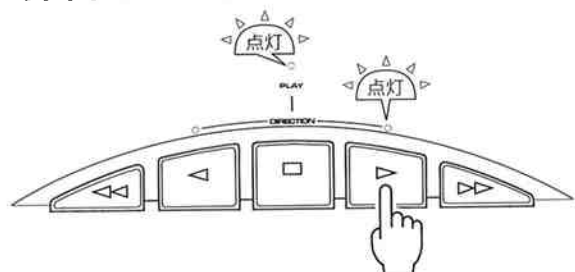


6 録音待機状態にする

レックポーズ REC/PAUSEボタンを押す



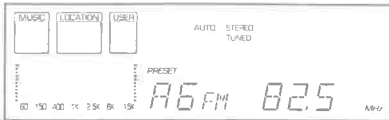
7 録音したい面をスタートさせる



●本機は、音質効果を加えて録音されます。音質効果を加えないで録音するには、フラットの状態でご使用ください。(35ページ)

ラジオ放送を録音するには

●お望みのラジオ放送局を受信する



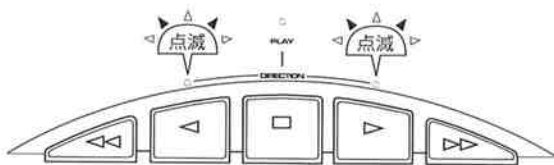
詳しくは、32ページをご覧ください。

●DECK Bの表示ランプを点灯させます。



●選んだドルビーNRとモードの表示ランプが点灯します。

	片面だけを録音するとき
	両面に録音するとき (A面→B面のみ)

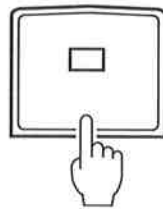


●両面に続けて録音するときは、A面から始めます。(B面から始めてもA面には切り換わりません。)

テープの始めの録音できない部分は、あらかじめ巻き取っておいてください。

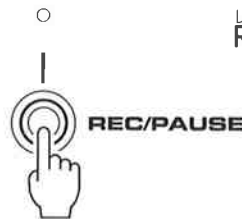


録音を止めるには



^{ストップ}STOPボタンを押す

録音を一時的に止めるには



^{レックポーズ}REC/PAUSEボタンを押す

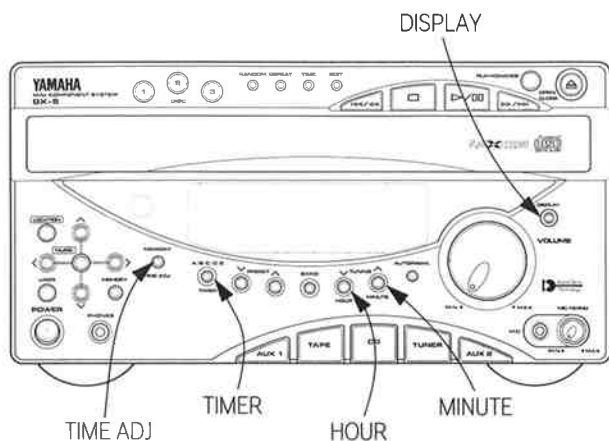
●再び録音を始めるときは、表示ランプの点滅している ^{プレイ}PLAYボタンを押します。

録音されたテープの音を消すには

1. 消したいテープを^{デッキ}DECK Bに入れる。
2. ファンクションをAUX1または2のどちらか、使用していないファンクションにする。
3. ^{デッキ}DECK A/Bボタンで、^{デッキ}DECK Bを選ぶ。
4. ^{ドルビーノイズリダクション}DOLBY NRボタンを押して、ドルビーオフ(消灯)の状態にする。
5. ^{モード}MODE(リバースモード)を選ぶ。
6. ^{レックポーズ}REC/PAUSEボタンを押す。
7. 消したい面の ^{プレイ}PLAYボタンを押す。

タイマーを使うには

- タイマー時刻を設定する前に、現在の時刻が合っているか、確かめてください。(16ページ)

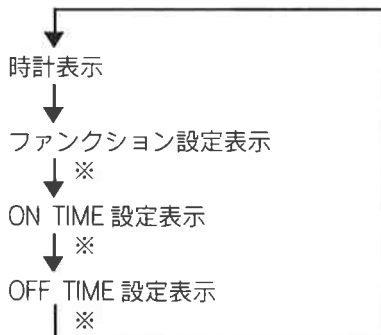


ディスプレイ DISPLAYボタンについて

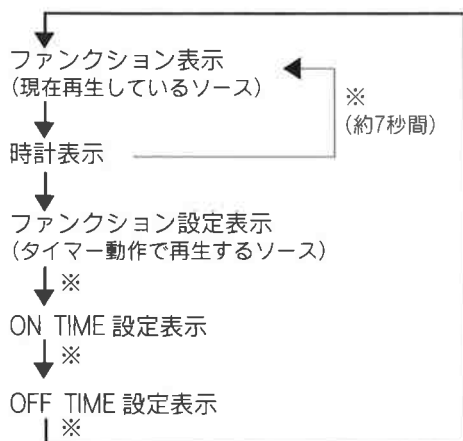
- DISPLAYボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。

※... 各設定表示は、約8秒間何も設定しないと自動的に次の表示に移ります。

電源が切れているとき



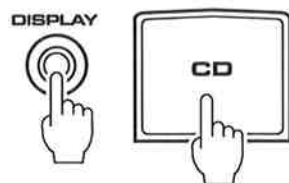
電源が入っているとき



タイマー再生をするには (例えば、

1 ファンクション設定表示にして

DISPLAYボタンでファンクション設定表示にして、CDボタンを押す



点滅している状態がファンクション設定表示です



2 ON TIME設定表示にして開始時刻を設定する



AM 7:30

- 約1秒間“ON TIME”表示して、開始時刻を表示します。

3 必要に応じて終了時刻を設定する



AM 8:30

- 約1秒間“OFF TIME”表示して、終了時刻を表示します。
開始時刻を設定すると終了時刻は1時間後にセットされます。
必要に応じて設定してください。

4 タイマー再生をスタートさせる

タイマー
TIMERボタンを押す



- 現在時刻を表示します。
- 設定した時刻がくるとタイマー再生が動作します。

朝CDを聞いて起きたい場合)

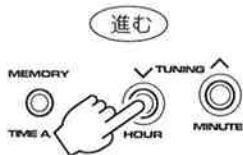
ファンクションを決める

- あらかじめCDをディスクトレイに入れる (18ページ)
TAPEの場合はテープをデッキに入れる (26ページ)
TUNERの場合は、ラジオ放送局を決める (32ページ)
- 音量を調整しておきます。
- TUNERを設定した場合、本体のBAND・A/B/C/D/EとPRESETボタンで選局することもできます。

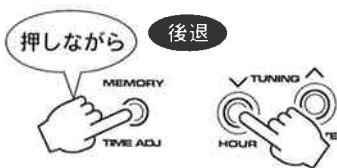
開始時刻または終了時刻の設定のしかた

時の設定

HOURボタンを押すと“時”が進む。



TIME ADJボタンとHOURボタンを同時押しすると“時”が後退する。

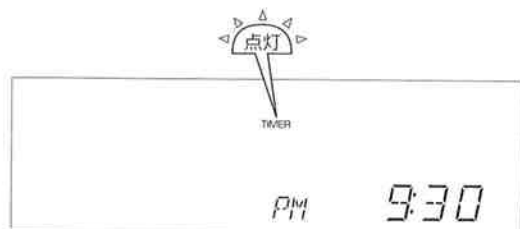


分の設定

MINUTEボタンを押すと“分”が進む。



TIMEADJボタンとMINUTEボタンを同時押しすると“分”が後退する。



- タイマーのON/OFFは、時計表示のときのみできます。

タイマー時刻を確かめるには

ディスプレイ
DISPLAYボタンを押して、各設定表示を確認してください。

タイマー動作を中止するには

時計表示のとき^{タイマー}TIMERボタンを押す
(TIMER表示は消えます。)

演奏中にタイマーONした場合

タイマー設定内容が優先されますので、設定したファンクションに切り換わります。

使用例.....タイマー設定(午後3時のFM番組)した開始時刻まで、他のソース(CDなど)を聞くことができます。

—— タイマーの記憶について ——

タイマー設定した内容は、電源コードを抜いたり停電しても、約5分までは設定した内容を記憶しています。

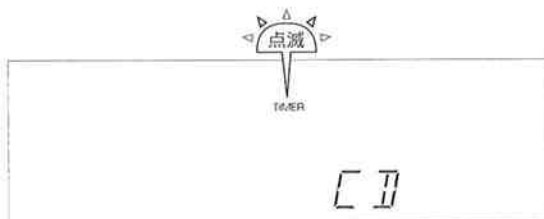
注) 開始時刻(ON TIME)を変更した場合には、自動的に終了時刻(OFF TIME)は1時間後に変更します。
OFF TIMEを設定し直してください。

タイマー録音をするには(ラジオ放送を留守録音したい場合)

1 あらかじめ、聞きたい放送局を選び、デッキBに録音用テープを入れる

- 46ページの①～⑤を操作する

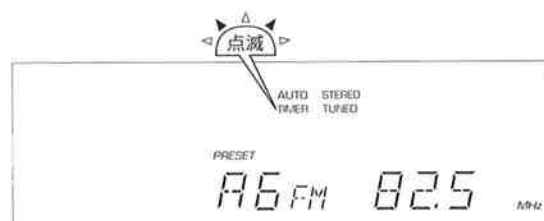
2 ファンクション設定表示にする



3 チューナー TUNER を設定する



- "TUNER"を表示した後、受信周波数を表示します。



このとき本体のBAND・A/B/C/D/EとPRESETボタンで選局することもできます。(32ページの③～④の操作)

4 タイマーレック TIMER REC状態にする

タイマーレック TIMER RECボタンを押す



- TIMER REC状態(モード)を解除する場合は、TIMER RECボタンを押します。



- 受信周波数(ファンクション)と"REC"が交互に表示します。(約8秒間)

5 開始時刻と終了時刻を設定する

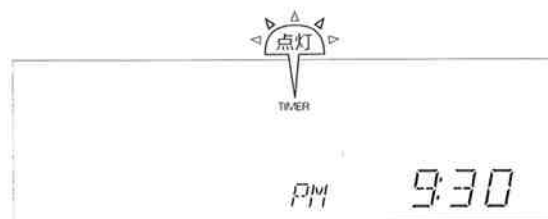
- 48～49ページの②～③を操作する

6 タイマー録音をスタートさせる。

タイマー TIMERボタンを押す



- 現在時刻を表示します。
- 設定した時刻がくるとタイマー録音が始動します。

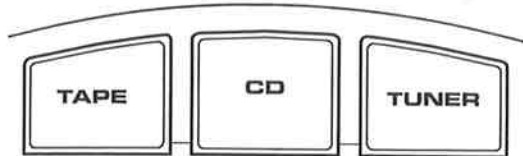


- タイマーのON/OFFは、時計表示のときのみできます。

注) 開始時刻(ON TIME)を変更した場合には、自動的に終了時刻(OFF TIME)は1時間後に変更します。OFF TIMEを設定し直してください。

聞きながらおやすみになるには

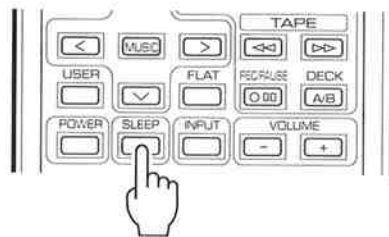
1 聞きながらおやすみになりたいものを操作する



- テープを聞きながらおやすみ
- ラジオ放送を聞きながらおやすみ
- CDを聞きながらおやすみ

2 ^{スリープ}SLEEPボタンを押す (リモコンのみ)

- スリープ時間は自動的に2時間(2h00m)に設定されます。(約4秒たつとSLEEPボタンを押す前の表示に戻ります。)



3 スリープ時間を変えるには

^{スリープ}SLEEP表示が点滅している間に、SLEEPボタンを押す



2h00m

時間の設定

押すたびに、2h00m → 1h30m → 1h00m → 0h30m → OFF SLEEP と変わります。

本体でスリープを設定するには

1. DISPLAYボタンを押して、時計表示にする。
2. AUTO/MAN'Lボタンを押すと、スリープ設定ができます。

スリープ動作中に
残りの時間を確かめるには

^{スリープ}SLEEPボタンを押す

スリープ動作を途中でやめるには

^{スリープ}SLEEPボタンを押して、^{オフスリープ}OFF SLEEP表示にする

(または^{パワー}POWERボタンを押す
電源が切れます)

時間がくると電源が切れます。



—— オートパワーオフ機能 ——

30分以上、ストップ状態(CD、テープ)や音の出ていない状態が続くと、自動的に電源が切れます。

※ 時刻合わせがされていない場合は、オートパワーオフ機能は、働かない場合があります。

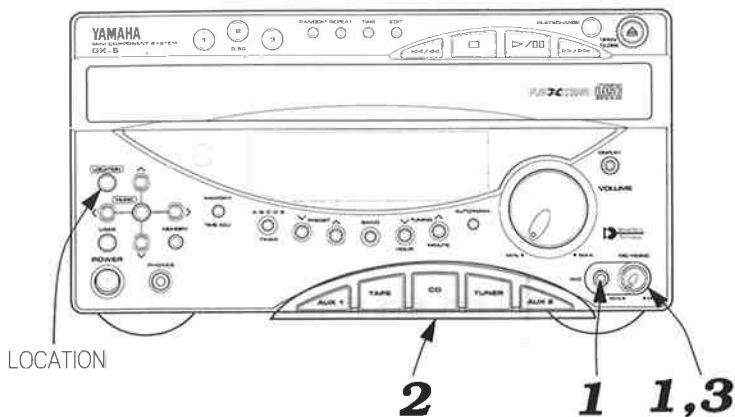
参 考

(48~50ページ参照)

スリープ時間をセットしたあとでも、タイマー再生/タイマー録音することができます。

マイクを使うには(マイクミキシング)

CDやテープの演奏に、マイクの音を重ねることができます。
マイクは、ミニプラグ(直径3.5mm)をお使いください。



※マイクは付属していませんので、お買い上げの販売店でお求めください。

カラオケを楽しむには
(歌声を小さくするボーカルミュート)



ロケーション
LOCATIONボタンを押して、
KARAOKEを選ぶ

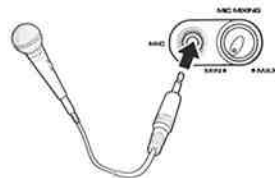
演奏するソースから、ボーカルだけを小さくする効果があります。
ただし下記のソースを使うと、効果が得られないことがあります。

- モノラル録音のソース
- 強いエコーのかかっているソース
- カラオケ用音声多重ソース
- 歌手の声が中央に位置していないソース

マイクを使い終わったら

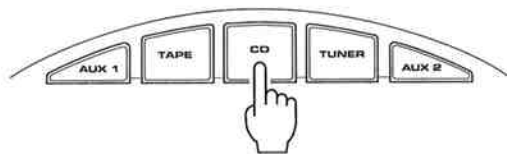
MIC MIXINGつまみを最小(MIN)の位置に戻してからマイクをMIC端子から抜いてください。
またマイクを使わないときも、MIC MIXINGつまみを最小(MIN)の位置にしておいてください。

1 マイクを接続する



- マイク ミキシング
MIC MIXINGつまみを最小(MIN)の位置にしてから、マイクをMIC端子に接続する。
・MIC ECHOは常に入っています。

2 ファンクションを選び、演奏を始める



3 マイクの音量を調節する



- マイクからの音声が大きすぎると、音がひずんで聞こえることがあります。ディスプレイを見て、スペクトラムアナライザーが振り切れないように、MIC MIXINGつまみで調節してください。
- マイクをスピーカーに近づけ過ぎると、ピーという音(ハウリング)を出すことがあります。そのときは、マイクをスピーカーから離すか、マイクの音量を下げてください。

注) マイクミキシングをテープに録音する場合は、ファンクションを"TAPE"以外にご使用ください。

- テープとのミキシング録音はできません。
単にテープの録音動作となり、マイクの音は加わりません。
- MICのみの録音
CD他は、無信号にL2 MICのみ入力可能になります。
ただし、ECHOは入りっぱなしになります。

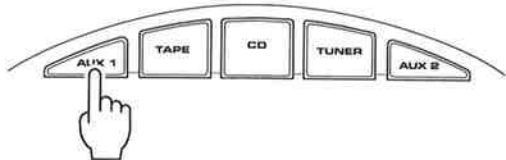
他の機器を楽しむには

他の機器を本機で聞くには

接続のしかたは、8ページをご覧ください。

- 他の機器の電源スイッチなどを操作する前に、本機の音量を小さくしてください。

1 ファンクション(AUX1またはAUX2)を選ぶ



2 他の機器の演奏(再生)を始める

- 他の機器の操作は、その機器の説明書をご覧ください。

他の機器を録音するには

1. ファンクション(AUX1またはAUX2)を選ぶ。
2. デッキ B に録音用テープを入れる。
3. ドルビー-NR/モード(リバースモード)を選ぶ。
4. DECK A/Bボタンで、DECK Bを選ぶ。
5. REC/PAUSEボタンで、録音待機状態にする。
6. 他の機器の演奏を始める。
7. 録音したい面の▶PLAYボタンを押す。

録音を一時的に止めるには

- REC/PAUSEボタンを押す。
- 再び録音を始めるときは、表示ランプの点滅している▶PLAYボタンを押す。

録音を止めるには

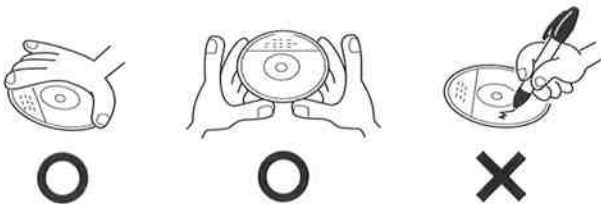
- ◻STOPボタンを押す。

CDやテープについて

CD(コンパクトディスク)について

取り扱いについて

- 必ず右図のマークが入っているコンパクトディスクをお使いください。
- 演奏面は、文字のある反対の面です。演奏面に触れないでください。
- 必ず、ディスクの縁を持ってください。
- 文字のある面を硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。信号をそこないますので、演奏面と同様にキズをつけないよう注意してください。



保管場所のご注意

ほこりやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

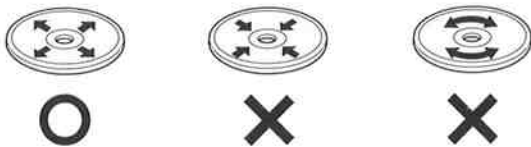
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる所(特に密閉した自動車内など)
- 暖房器具の近く
- ほこりや湿気の多い所

お手入れのしかた

指紋やほこりなど汚れがつくと、雑音や音とびの原因になります。汚れがついたときは、柔らかい布で、中央から縁の方向にまっすぐに軽くふきとってください。

- 矢印と反対の方向にふいたり、普通のレコードのようにまわしながらふいたりしないでください。

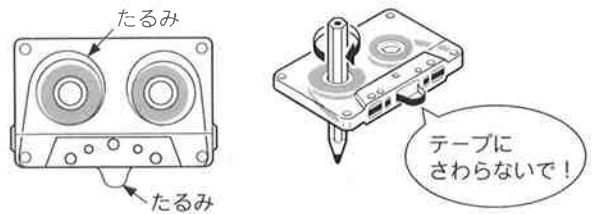


- 次のものは使用しないでください。
 - ベンジンやアルコールなどの溶剤
 - 研磨材を含むクリーナー
 - レコード用のスプレーやクリーナー
 - 静電気防止剤

テープについて

取り扱いについて

- C-120テープや一部のリール付デザインのテープは薄く伸びやすいためできるだけ使用しないでください。テープが機械に巻き込まれる場合がありますので注意してください。
- テープをお使いになる前に、たるみがないか、シワが入っていないか確かめてください。テープのたるみは鉛筆やボールペンなどで巻き取ってください。たるみやシワのあるテープを使うと、テープが切れたり、機械に巻きついたりすることがあります。

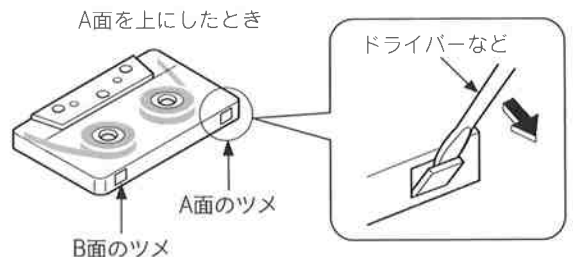


避けてほしい保管場所

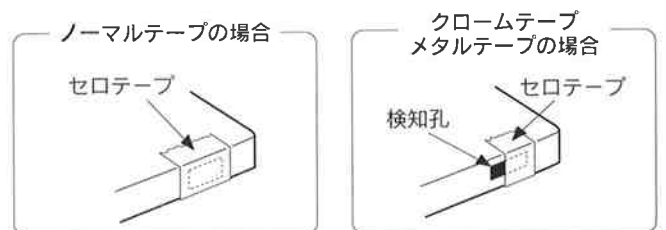
- 直射日光が長時間あたる所(特に密閉した自動車内等)
- 暖房器具の近く
- ほこりや湿気の多い所
- 磁気のある所(スピーカーの近くやテレビの上など)

大切な録音を誤って消さないために

- テープの消去防止用のツメを折って取りのぞいておくと、録音ができなくなり大切な録音をあやまって消すことがあります。



- もう一度録音したり、録音を消したいときは、ツメを折った部分を、セロテープなどでふさぎます。



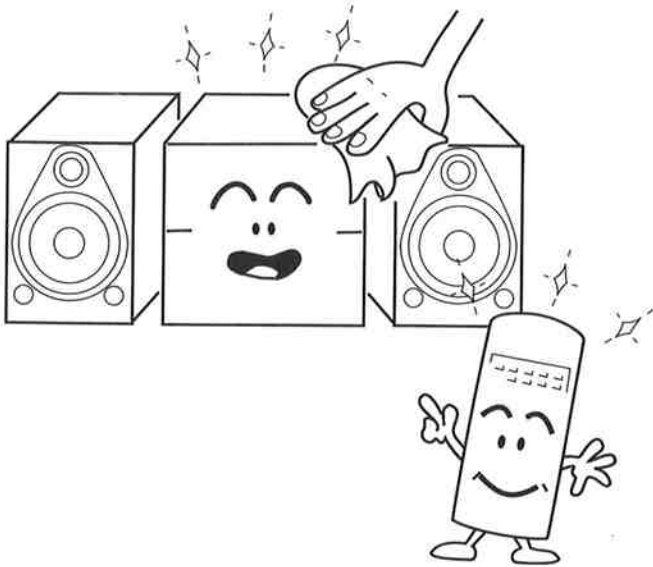
オートテープセクター機構はテープの検知孔によって判別しますので、クロームテープの穴をふさぐ場合は、ツメがあった部分だけをふさいでください。

お手入れするには

- お手入れする前に、電源コードをコンセントからはずしてください。

本体／リモコン

ふつうの汚れは、やわらかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤を布にふくませ、よくしぼってふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。



ご注意

ベンジン、シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので使わないでください。



ヘッド

<ヘッド部の清掃>

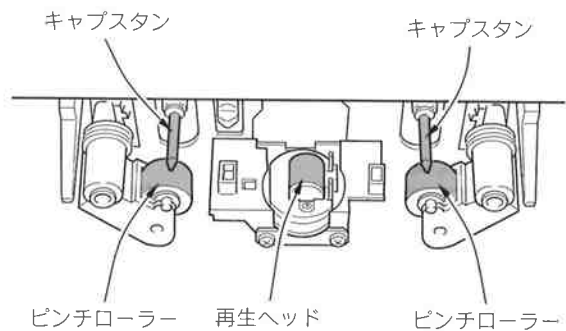
良い音で録音や再生を楽しむために、およそ15時間使用すごとに清掃してください。市販のクリーニング液か、アルコールを含ませた綿棒でテープの触れる面を軽くふきます。

<ヘッド部の消磁>

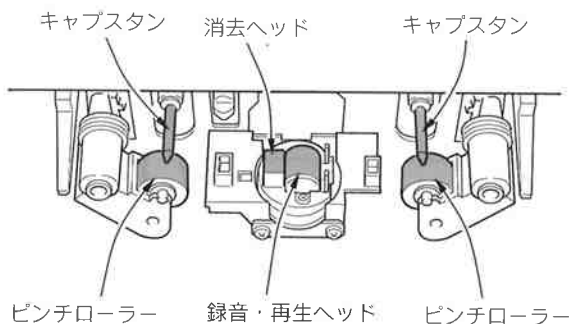
長い間使っていたり、ヘッド部に磁気を帯びたものが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をすると、雑音が入ります。このようなときは、市販の消磁器を使って消磁してください。

- 油をささないでください。故障の原因になります。

デッキA

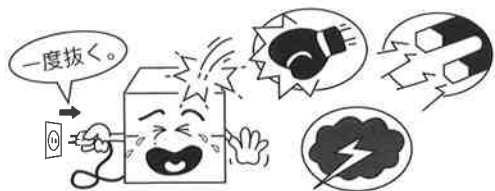


デッキB



故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理やアフターサービスをお申し付けになる前にあらかじめお調べください。



- この製品を使用中に、強い外来ノイズ(衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
- このようなときは、いったん電源差し込みプラグを抜き、約30秒後に再びつないで操作をやり直してみてください。

こんなとき

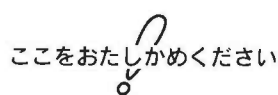
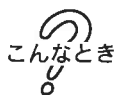
ここをおたしかめください

参照ページ

スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドホンが差し込まれていませんか？ ●ファンクションが正しく合っていますか？ ●スピーカーコードがスピーカー端子からはずれていませんか？ 	17 — 5
低音が出ない。 音源の位置が不明りょう。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーの左右どちらかの極性、(+,-)が反対になっていませんか？ 	5
“ブーン”という雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調をうけることがあります。 電源差し込みプラグの左右を逆に差しかえてみてください。 	—
時計の表示が点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> ●停電がありませんでしたか？ 時刻を設定し直してください。 	16
電源を切っているのに、わけのわからない表示をする。	<ul style="list-style-type: none"> ●時刻合わせをしましたか？ ●停電がありませんでしたか？ 	3

●CDを聞くととき

<ul style="list-style-type: none"> ●CDを入れても総曲数の表示がつかない。 ●操作ボタンを押しても動作をしない。 また、曲の途中で止まってしまい正しい演奏をしなくなる。 ●演奏音がとぎれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CDの裏表をまちがえていませんか？ ●ディスクトレイの中に異物が入っていませんか？ ●CDに汚れやキズがありませんか？ ●規格外のCDを使用していませんか？ ●振動の多い不安定な場所においていませんか？ ●つゆがついていませんか？ 	18 — 54 — 3
<ul style="list-style-type: none"> ●"no disc"が表示される。 ●ディスクトレイが出てきてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CDにゴミやキズがついていたり、裏表を逆にに入れていませんか？ 	18
ボタンを押しているうちに、正常な動作をしなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ●演奏位置をさがす動作がボタン操作と対応しなくなることがあります。 一度、電源を切り、再び操作をやり直してください。 	—



●テープを聞くとき、または録音するとき

REC/PAUSEボタンを押しても表示ランプがつかない。	●カセットテープの消去防止用のツメが取り除かれていませんか？	54
録音および再生のとき音がとぎれる。または高音が出ない。	●テープにシワがあったり、伸びたりしていませんか？ ●ヘッド部が汚れていませんか？	— 55
録音および再生のとき音のふるえが多い。	●テープが伸びていませんか？ ●キャブスタンやピンチローラーが汚れていませんか？	— 55

●ラジオ放送を聞くとき

FM放送に“ザー”という連続音が入る。	●アンテナの位置が悪くありませんか？	6
AM放送を聞いているときに、“シー”“ザー”という連続音が入る。	●テレビなどからの雑音が入る、または、放送局間の干渉音聞こえることがあります。テレビを消すか、テレビから離してください。	—

●リモコンを使うとき

正しい動作をしない。	●乾電池が消耗していませんか？ ●受信部に正しく向けていますか？ ●受信部との距離が遠すぎませんか？または近すぎませんか？ ●受信部に強い日光や照明(インバーター蛍光灯など)があたっていませんか？ ●他の機器のリモコンを同時に操作していませんか？ ●乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか？	9
------------	--	---

●タイマーを使うとき

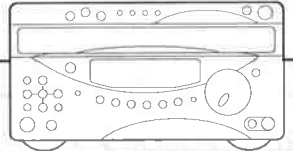
タイマーがスタートしない。	●時刻合わせをしましたか？ ●(TIMER)が表示されていますか？	16 48
---------------	--------------------------------------	----------

●本機をテレビの近くに置いているとき

“キーン”や“ブーン”という雑音が入る。または、雑音録音される。	●使用するテレビによっては、テレビから雑音が入ることがあります。テレビとこの製品の位置を左右入れかえるか、雑音がなくなるまで離してください。または、テレビを消してください。	—
他のチューナーやテレビに雑音や映像の乱れが生じる。	●室内アンテナを使用しているチューナーやテレビを近くに置いていませんか。特に、室内アンテナを使用しているチューナーやテレビに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。	—

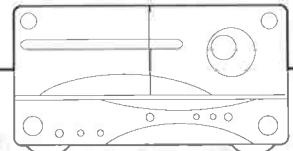
故障かな？と思ったら

仕様について



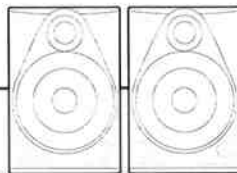
CD/チューナー部 (TCD-GX5)

CD部	型式	3CDオートチェンジャー	オーディオ部	イコライザーコントロール	中心周波数	60Hz, 150Hz, 400Hz 1kHz, 2.5kHz, 6kHz, 15kHz
	読み取り方式	非接触光学式読み取り方式 (3ビーム半導体レーザー使用)			可変範囲	±10dB
	D/Aコンバーター	1bit DAC			SN比	75dB (AUX)
	フィルター	8倍オーバーサンプリング 18bitデジタルフィルター			ヘッドホン出力インピーダンス	68Ω
	ワウ・フラッター	測定限界値以下			入力感度/インピーダンス	175mV/39kΩ
チューナー部	FM受信周波数範囲	76.0MHz~90.0MHz	総合	電源	デッキ/アンプ部より供給	
	FM実用感度 (MONO)	1.2 μV (75Ω)		寸法 (幅) × (高さ) × (奥行)	280 × 150.5 × 366.4mm	
	AM受信周波数範囲	531kHz~1611kHz		重量	5.0kg	
	AM実用感度	280 μV/m				



デッキ/アンプ部 (KMA-GX5)

デッキ部	型式	オートリバース 4トラック2チャンネル 再生/録再ステレオダブル カセットデッキ	アンプ部	定格出力	35W+35W (1kHz, 0.1% THD, 6Ω) 50W+50W (1kHz, 10% THD, 6Ω)
	ヘッド	再生 ハードパーマロイ×1 録再 ハードパーマロイ×1 消去 ダブルギャップフェライト×1		全高調波歪率	0.08% (AUX, 1kHz, 17.5W/6Ω出力時)
	モーター	DCサーボモーター×2	総合	電源電圧	AC100V 50/60Hz
	ワウ・フラッター	±0.15% (W. PEAK) 0.08% (W. RMS)		消費電力	100W (システム接続時)
	早巻き時間	約100秒 (C-60テープ)	寸法 (幅) × (高さ) × (奥行)	280 × 150.5 × 355.5mm	
	周波数特性 (-20dB)	ノーマル	30Hz~15,000Hz ±3dB	重量	6.2kg
		クローム	30Hz~16,000Hz ±3dB		
		メタル	30Hz~18,000Hz ±3dB		
	SN比 (IHF-A)	NR OFF	58dB		
		DOLBY B NR ON	66dB		
		DOLBY C NR ON	74dB		
	高調波歪率	1.2%以下 (315Hz)			
	チャンネルセパレーション	40dB以上 (1kHz)			
	クロストーク	55dB以上 (125Hz)			



スピーカー部 (NX-GX5)

型式	アクティブサーボプロセッシング方式
スピーカー	16cmウーハー 5cmツイーター
最大許容入力	75W
インピーダンス	6Ω
再生周波数帯域	70Hz~20,000Hz
音圧レベル	86dB (1m · 2.45V)
寸法 (幅) × (高さ) × (奥行)	200 × 300 × 249mm
重量	2.8kg × 2



付属品

リモコン送信機×1	スピーカーコード×2
AM用ループアンテナ×1	単3乾電池×2
FM用アンテナ×1	

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。ご了承ください。

||||||| ドルビーNRについて |||||

カセットテープの場合、聴感上、高域でのテープのヒスノイズが主な雑音源になります。このヒスノイズを減らすため、ドルビーB NRとドルビーC NRを切り換えて使用することができます。

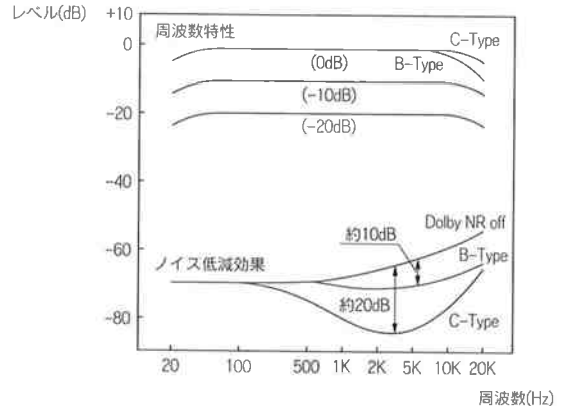
ドルビーB NRでは、高域周波数において約10dBの改善効果があります。ドルビーC NRでは、人間の耳が最も敏感な帯域(2KHz~8KHz)で約20dBの改善効果が得られます。

右図は、ドルビーB NRとドルビーC NRで録音・再生したときの周波数特性とノズル低減効果を表わしたものです。ドルビーC NRの場合、ドルビーB NRに比べノイズはさらに低減され、約20dBの改善効果があることがわかります。なお、ドルビーNRシステムは、録音・再生両過程を通じてノイズを低減しますので、再生時にはDOLBY NRスイッチは必ず録音時と同じ状態にしてください。

DOLBY B-C NR

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

「ドルビー」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの登録商標です。



||||||| 音楽著作権について |||||

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は、著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

1. 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープを売る、配る、譲る、貸すときなど。
2. 営利(店のBGMなど)のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

日本著作権協会

本部	(03)	3502-6551	北陸支部	(0762)	21-3602
北海道支部	(011)	221-5088	京都支部	(075)	251-0134
盛岡支部	(0196)	52-3201	大阪支部	(06)	244-0351
仙台支部	(022)	264-2266	神戸支部	(078)	322-0561
大宮支部	(048)	643-5461	中国支部	(082)	249-6362
東京支部	(03)	3562-4455	四国支部	(0878)	21-9191
西東京支部	(03)	3232-8301	九州支部	(092)	441-2285
横浜支部	(045)	662-6551	鹿児島支部	(0992)	24-6211
静岡支部	(054)	254-2621	那覇出張所	(098)	863-1228
中部支部	(052)	586-1155			

詳しい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部または最寄りの支部へお問い合わせください。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

本システムは、CD/チューナー部、デッキ/アンプ部の単体動作しませんので、CD/チューナー部 + デッキ/アンプ部の組み合わせで修理をご依頼ください。

●保証の期間は

お買上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご希望により有料にて修理いたします。

●スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますのでエージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●修理料金の仕組み

- ◆技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- ◆部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- ◆出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

●補修性能部品の最低保有期間は

補修性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

北海道 〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50	ヤマハセンター内 TEL (011) 513 - 5036
仙台 〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236 - 0249
首都圏 〒211	川崎市中原区木月1184	TEL (044) 434 - 3100
東京 〒108	(お持ち込み修理のみ取扱い) 東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488 - 6625
浜松 〒435	浜松市西町911	ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053) 465 - 6711
名古屋 〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2	ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL (052) 652 - 2230
大阪 〒565	吹田市新芦屋1-16	ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL (06) 877 - 5262
広島 〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL (082) 874 - 3787
四国 〒760	高松市丸亀町8-7	ヤマハ(株)高松店内 TEL (0878) 22 - 3045
九州 〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472 - 2134

■お客様ご相談センター

(ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口)

TEL (03) 5488 - 5500

東京 〒108 東京都港区高輪2丁目17-11

愛情点検



★永年ご使用の本機の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

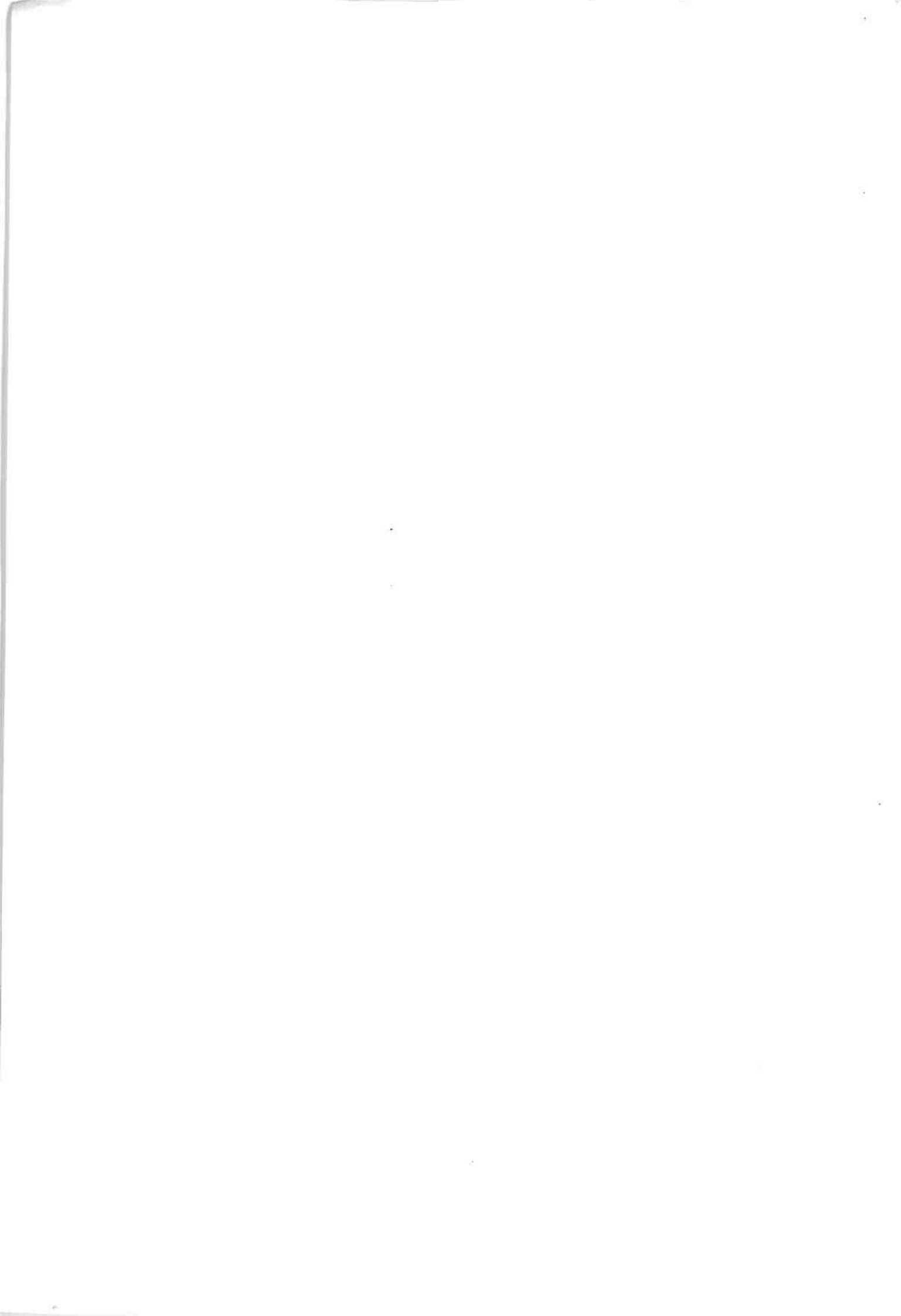
ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 TEL (053) 460 - 3451
品質保証室 TEL (053) 460 - 3405

住所および電話番号は変更になることがあります。



YAMAHA